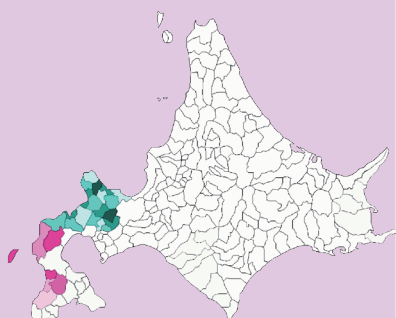


# 北海道の 市と町と村を ご紹介

歴史・観光・食の情報

文中の URL 部分をクリック  
すると WEB が開きます



## 北方領土返還運動

を行っています



国土地理院電子地図より



くなしり  
国後島

しこたん  
色丹島

はばまい  
歯舞諸島



色丹島 2015 年 8 月



バッジ頒布について

－ 1 週間程度で発送します －

北方領土返還運動推進バッジ

●「ブラウリボン」バッジ ●「千島桜」バッジ

早期実現北海道新幹線バッジ



新幹線早期実現



バッジお申込方法 (QR コードを読んでください)

バッジ 1 組 1,000 円 (1 種類ごと 4 個一組)  
1 組ごとに、バッジの種類を明記のうえ、「1,000 円分の切手」と「返信先を記入した 140 円切手を貼った返信封筒」を同封の上、下記住所へ郵送して下さい。(1 組毎に返信用封筒が必要です。)

北海道倶楽部とは

北海道倶楽部は、昭和 2 年に新渡戸稲造博士等によって東京に設立された公益社団法人です。  
北海道の健全な発展に寄与することを目的とし、北海道等のための広報活動、地域活性化事業の支援、北方領土返還運動、ふるさと納税等寄附の推進運動、北海道新幹線早期実現運動などの事業を行っています。

公益社団法人 北海道倶楽部

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2 丁目 17 番 17 号 北海道東京事務所 1 階  
TEL03-3581-4021 FAX03-3581-4022 <http://www.hokkaido-c.or.jp> [hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp](mailto:hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp)





# 北海道の 市と町と村を ご紹介

目次

北海道  
北海道  
檜山振興局

北海道  
後志総合振興局

乙部町のご紹介.....	1
厚沢部町のご紹介.....	5
奥尻町のご紹介.....	9
今金町のご紹介.....	13
せたな町のご紹介.....	17
仁木町のご紹介.....	21
島牧村のご紹介.....	25
留寿都村のご紹介.....	29
積丹町のご紹介.....	33
神恵内村のご紹介.....	37
岩内町のご紹介.....	41
古平町のご紹介.....	45
赤井川村のご紹介.....	49
黒松内町のご紹介.....	53
共和町のご紹介.....	57
小樽市のご紹介.....	61
蘭越町のご紹介.....	65
真狩村のご紹介.....	69
余市町のご紹介.....	73
ニセコ町のご紹介.....	77
京極町のご紹介.....	81
公益益社団法人北海道倶楽部のご紹介 .....	85
北海道倶楽部の入会申込書 .....	86

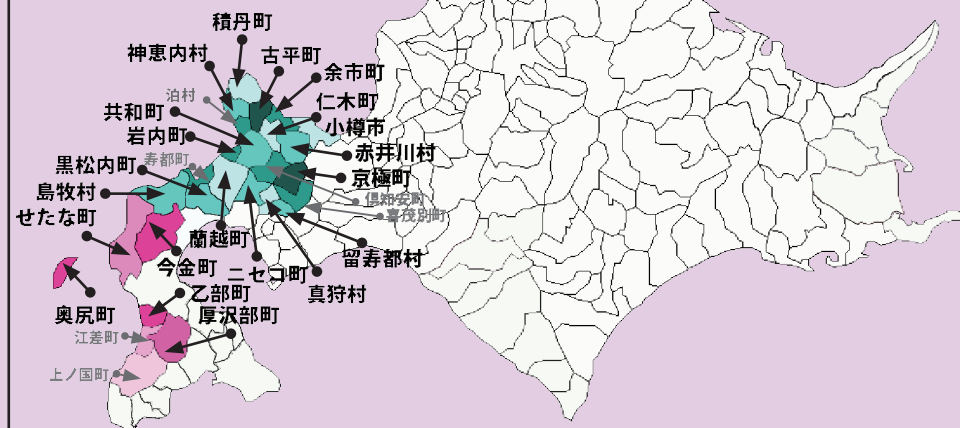
掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性が  
あります

2025 年北海道 "NOW"

掲載の 21 市町村

後志総合振興局エリア内

エリア内の小文字の市町村は次回  
Vol. 8 に掲載予定です。



檜山振興局エリア内

エリア内の小文字の市町村は前回  
Vol. 6 に掲載済みです。

この冊子「北海道の市と町と村を  
ご紹介」は北海道情報紙の北海道倶  
楽部・北海道 "NOW" (2025 年 12  
月号) の別冊として刊行しました。

今回掲載したまちは、北海道  
"NOW" の2025年1月～12月 (2月は  
休刊) に掲載した21市町村のご紹  
介をすべて再録したものです。なお  
再録に当たり情報を一部更新しまし  
た。

北海道開拓の歴史などに関しても  
記され、食や観光のみならず興味深  
い内容が含まれております。

記事は、北海道及び掲載市町村の  
方のお世話になっております。御礼  
申し上げます。有り難うございまし  
た。

公益社団法人北海道倶楽部

2025 年 12 月 1 日

色丹島 2015 年 8 月





## 乙部町のご紹介

### 市町村から

○元和台マリンフェスティバル  
毎年8月に元和台海浜公園「海のプール」で開催、1チーム4人でイカダをこぐ「ダッタン漂流記レース」や親子で参加する「親子スイカ割り」、町の特産品等が当たる「景品券入り餅まき」など、家族や友達と楽しめるイベントを実施しています。小学生以下を対象とした「ウニ・ホタテの手づかみ体験」では波打ち際の浅い所へウニ・ホタテを放流し、生きた海産物に触れてもらおうと行なっている体験プログラムで、毎年多くの子どもたちで盛り上がるイベントです。

○乙部町ふれあい交流盆おどり・花火大会

毎年8月14日に開催する乙部町の恒例行事で、乙部漁港にやぐらを設置し、漁火（いさりび）と山車（だし）の電飾が、夜の乙部漁港を明るく照らし出す中、やぐらを囲み、江差追分で知られる寺島三姉妹の生歌に合わせて、盆おどりをを行います。地元の町民だけでなく、帰省した人も輪に加わり、乙部音頭などの曲に合わせて盆おどりを一緒に楽しめます。

盆おどり終了後に花火大会を実施し、乙部町の夏の夜に数多くの花火が打ち上がり、目の前で打ち上がるので、迫力満点の花火を楽しむことができます。

### ○産業まつり

毎年9月に開催しており、ふれあい通り（道道乙部漁港線）を歩行者天国に

し、地元の飲食店等による出店や野菜販売などを行っています。「YOSAKOIソーランパレード」や「歌謡ショー」、乙部町の特産品などが当たる「景品券入り餅まき」など、多数のイベントを実施し、多くの方で賑わっています。

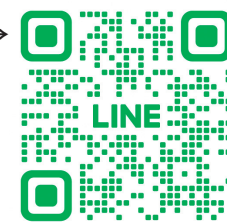
○縁桂森林フェスティバル  
毎年9月の秋分の日縁桂森林公園で開催しており、縁桂への散策会を実施し、それぞれ自分のペースで歩くことができるので、心地よい散策を楽しむことができます。

散策会後には、会場で昼食会を実施、じゃがいもの塩煮が無料で振舞われるほか、焼き台を無償で貸し出し、ジンギスカンセットをその場で購入することもできるので、炭火コーナーで

自然に囲まれながら食べることが出来ます。また、農産物などが当たる「おたのしみ抽選会」や「じゃがいも袋詰め1kgピタリ大会」、地元で収穫された農産物の激安販売も行っているため、家族や友人で楽しめます。

### ○乙部町の情報発信

乙部町では、LINEを活用した町外向けの公式LINE「おとべnavi」を運営しています。町のイベント



公式LINE「おとべnavi」はこちらから



乙部ワンダーランドはこちらから

ト情報や特産品情報、ふるさと納税の情報などを紹介しているため、興味のある方は是非登録をお願いいたします。また、乙部町の見どころや食、楽しみ方などを紹介する観光特設サイト「OTOBEE Wanderland（乙部ワンダーランド）」を開設しています。是非ご覧いただき、乙部町の魅力に触れてみてください。

### 移住はいいけど

○バリアフリー移住体験住宅

乙部町では、乙部町への移住を検討している方向けに町内で一時的な生活体験の機会を提供する「バリアフリー移住体験住宅」を2棟設置しています。

施設は全てバリアフリー化しており、駐車場から住宅内まで車イスで移動することができ、施設内も車イスで動きやすいよう、ゆとりあるデザインとなっております。生活備品等も揃えてあるので、少ない荷物で気軽に利用することが出来ます。

利用期間は5日以上90日以内となっており、歩いて行ける距離に源泉かけ流しの温泉やテニスコート、飲食店やコンビニエンスストア



アもあり、住宅街にあるので、のんびり過ごすことができます。利用にあたっては予約制で、次年度の事前予約は1月から2月に受け付けて抽選会を行います。抽選後、空き期間については随時受付に変わります。

申し込み先は、管理運営を受託している地域商社「おとべ創生株式会社」で行っていますので、申込方法及び空き状況については



おとべ創生株式会社ホームページはこちらから ←

### ふるさと納税

毎年、数多くの方々から乙部町へふるさと納税で寄付をいただいております。日頃より大変感謝申し上げます。

集められた寄附金は、乙部町ふるさと創生推進事業基金に積み立て、豊かなふるさとを築くことを目的に活用しています。

返礼品には、海産物や旬の農産物をはじめ、地域資源を活用した特色ある特産品などを多数ご用意しています。ふるさと納税の返礼



黒千石大豆商品



クラフトビール「OTOBBEAN」

品を紹介する特設サイトも開設していますので、興味のある方は是非ご覧ください。ふるさと納税特設サイトはこちらから ←





# 「日本海の美しい景観と 自然の魅力あふれるまち乙部町」

## 観光スポット

### ○乙部町

乙部町は北海道南部の日本海側に位置し、「館の岬（たてのさき）」や「鮪の岬（しびのさき）」などの特徴的な岬や緑結びの神様が宿るとされている「縁桂」など、自然の美しい景観が魅力のまちです。

場所、檜山管内のほぼ中央部、函館空港から車で約1時間30分、新函館北斗駅から車で約1時間のところにあります。

### ○滝瀬海岸「シラフ」

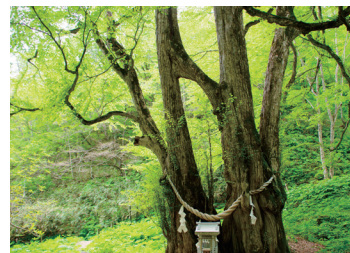
SNS等で注目を集めている滝瀬海岸「シラフ」は、海岸線に高さ20mほどの白い断崖が約



### ○「館の岬」・「鮪の岬」

長い月日によって自然が作り出した東洋のグランドキャニオンとも呼ばれている「館の岬」は、海底へ交互に重なる堆積した地層が地殻変動により陸上に隆起し、整然とした断層面を露出しています。

### ○連理の木「縁桂」



山を楽しみたい方には「縁桂」がオススメ。樹齢500年を超える「縁桂」は2本の桂の木が枝で繋がって一体となっており、このような木は「連理の木（れんりのき）」と呼ばれ、縁結びの神様が宿るとされ、この木に触ると良縁に恵まれると地元では崇められています。2000年には林野庁が選定する「森の巨人たち百選」に選ばれ、2012年には全国訪ねてみたい神秘的な巨樹ランキ

し、どなたでも安心して利用ができます。シーズン中の土・日・祝日や毎年開催している「元和台マリンフェスティバル」では、小学生以下を対象にウニ・ホタテの手づかみ体験を実施しており、町内外から家族連れの方々が多く来場される人気のレジャー施設です。また、町内に源泉かけ流しの温泉もあり、温泉宿や日帰り入浴施設を利用される方も多くいらっしゃいます。

水の成分が違ってもあり、5ヶ所の湧き水を巡り楽しむことができます。



「生命の泉」

最後に  
北海道の道南にお越しの際は、是非、乙部町の景観

500mも続き、異国情緒あふれる景観が広がっており、国内観光客だけでなく、インバウンドも多く訪れている映えスポットです。タイミングが良ければ夕陽に染まった姿も見ることが出来ます。



また、北海道天然記念物に指定され、北海道自然100選にも選ばれている「鮪の岬」は、岬の形がマグロの背に似ていることや、独特の岩肌がマグロのウロコのように見えることから、鮪の岬と呼ばれています。どちらも自然が作り出した迫力ある景観が広がっており、夕陽と合わせるとより魅力的な美しい景観を楽しむことができます。



### ○元和台海浜公園 「海のプール」



環境省が選定する「快水浴場百選」に北海道で唯一選ばれている元和台海浜公園「海のプール」は、海を防波堤で囲い、水質の良さと安全面で高い評価をいただいております。施設内のバリアフリー化も進め、駐車場から海までスロープの設置と水陸両用車イスを用意

### 乙部町へのアクセス



↑  
詳細はこちらから

●お問い合わせ  
○乙部町役場 〒043-0103 北海道爾志郡乙部町字緑町388番地  
TEL: 0139-62-2311 FAX: 0139-62-2939

E-mail: [kikaku@town.otobe.lg.jp](mailto:kikaku@town.otobe.lg.jp)  
公式ホームページ: <https://www.town.otobe.lg.jp/index.html>



# 厚沢部町のご紹介

## 市町村から

○厚沢部町とは  
○人口・面積

人口…3,290人（令和6年10月末日現在）  
面積…460・58㎦

厚沢部町は、北海道の南端、渡島半島の日本海に面した檜山管内の南部に位置し、農業を基幹産業とする町です。函館市からは車で約1時間15分、新函館北斗駅からは車で約45分の位置にあります。

平成21年には「素敵な過疎のまちづくり基本条例」を施行し、「過疎」を受入れた上で、魅力ある個性豊かで活力に満ちた「世界一素敵な過疎のまち」を目指し取り組みを行っています。

## ○沿革

当町の開基は、長祿元年（1457年）に国文館が築かれたのが始まりといわれているほか、天正年間（1573～1591年）に本州から和人が移住し、開拓したのが始まりとも言われています。

明治元年（1868年）に、松前藩により築城された館（たて）城は、日本で最後の和式城郭です。城跡は、平成14年に国指定史跡に指定されています。

明治9年（1876年）に戸長役場が設置され、明治39年（1906年）に厚沢部村、昭和38年（1963年）に厚沢部町となりました。人口は、昭和35年（1960年）の1万651人をピークに年々減少を続けています。

## ○自然

町内を厚沢部川が流れ、流域に水田、丘陵地帯に畑地が拓けています。厚沢部川では、毎年夏になると北海道では珍しい鮎の友釣りができる、町内外からの太公望で賑わいます。

町域面積の8割を超える森林は、五葉松とヒバの自生北限、トドマツの自生南限地帯となっており、多様な植生が見られます。

土橋自然観察教育林「レクの森」は、自然観察や森林浴など多くの人々に利用されており、道内に存在する樹木の約8割を見ることができ、学術的にも大変貴重な森となっています。

## ○イベントカレンダー

5月 館城跡まつり  
6月 うずら綱引きまつり  
7月 あつさぶふるさと夏まつり

## まつり

10月 あつさぶ町農協大収穫祭  
2月 冬の道駅まつり

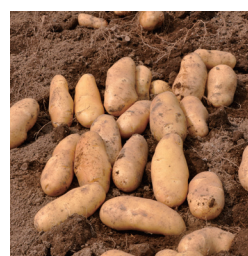
## ○産業

本町の冬は季節風が強く積雪量も比較的多いが、春から夏にかけては比較的温暖で、農業が盛んです。

「メークイン発祥の地」の厚沢部町では、ジャガイモのほか、グリーンアスパラガス、黒大豆、カボチャ、特A米に認定された「ふつくりんこ」など多様な作物を栽培しています。

特にメークインは、種子用・食用を生産し、全国各地に出荷されています。

毎年7月下旬に開催する「あつさぶふるさと夏まつり」では、あつさぶメークインを材料に巨大コロケを作成し、多くの観光客に提供しています。



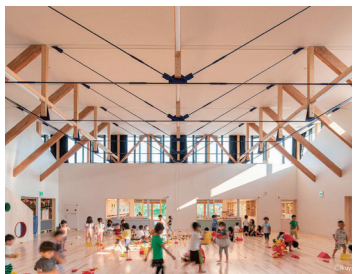
提供しています。

また、平成19年には、北海道で初となる「さつまいも」を原料とした芋焼酎「喜多里」の工場が操業し、厚沢部産のさつまいもに加え、じゃがいも（あつさぶメークイン）焼酎と麦焼酎の製造も行っています。

## 移住のしくみ

○移住定住（子育て支援）に向けた取り組み

住みやすい、住んで良かったと思っていただけの環境の整備と、移住定住者確保のため、定住者への各種奨励金、持家建設・リフォーム補助や、子育て世代の負担軽減（保育料・給食費無償化・医療費助成・無利子奨学金）などの支援策を講じています。



住されたご家族もいます。

○まちづくりに向けた取り組み

平成21年には、まちづくり会社「素敵な過疎づくり株式会社」を、町の100%出資で立ち上げ、移住促進や町のPRなど様々な町づくり事業を展開しています。

また、町の基幹産業である農業振興を図るため、平成4年に町とJAの共同出資で第三セクター「厚沢部

町農業振興公社」を設立し、農業者の高齢化や人手不足を補うため農作業の受託を行うなど、本町農業に欠かせないものとなっています。

## ○ふるさと会のご案内

厚沢部町のふるさと会は、東京厚沢部会、札幌厚沢部会、函館厚沢部会があり、各会とも、その土地に在住する厚沢部町出身者と厚沢部町にゆかりのある方々で構成されており、ふるさと厚沢部町の応援をいただいています。

入会を希望される方は、役場政策推進課へご連絡ください。

## ふるさと納税

世界一「素敵な過疎のまち厚沢部町」を目指して、厚沢部町を愛し、応援していただける多くの皆様に、「寄附（ふるさと納税）」という形で、まちづくりに参画していただいています。

厚沢部町は、「厚沢部町素敵な過疎のまちづくり基本条例」を制定し、魅力あるまちづくりに取り組んでおり、厚沢部町のまちづくりに多くの皆様のご支援をお願いいたします。

なお、1件5000円以上の寄附をいただいた方には、感謝の気持ちを込めて、厚沢部町の特産品の中から、ご希望の品1点をお礼品として贈呈しています。

手続きの方法や贈呈品など詳細については、厚沢部町ホームページをご覧ください。



厚沢部町ふるさと納税





## 厚沢部町のご紹介

## 「世界一素敵な過疎のまち、厚沢部町」

## 観光スポット

## ○道の駅「あつさぶ」

函館駅から約80分、新函館北斗駅から約45分、国道227号沿いに位置している道の駅「あつさぶ」は、地場産のヒノキ・アスナロ（ヒバ）材を使って建てられ、木の香り漂う道の駅です。

史等の映像を見て、触れて、体感いただけます。

## ○温泉

厚沢部町には、3つの温泉（うずら温泉・俄虫温泉・館地区憩いの家）があります。

うずら温泉は、田園風景

の中にたずむヨーロッパ風の建物で、総ヒバ造りのサウナやジャグジーを完備し、訪れる人に憩いと安らぎの空間を提供しています。（泉質：アルカリ性単純温泉）



俄虫温泉は、アイヌ語「カムイ・ウシ（熊が多い林）」が転化した厚沢部町の旧名の「俄虫」に由来し、百年

さらに、レクの森の入口にあるキャンプ場では、炊事場やトイレ、バーベキューハウスが完備されて

おり、バンガローやフリーテントサイトでの宿泊が可能となっています。



○厚沢部町イメージキャラクターを紹介  
メークイン発祥の地「厚沢部町」で生まれた「おら



ンコロケ」が、観光客や地元住民の人気を呼んでいます。  
このイベントは、厚沢部産メークインを使って、その場で直径2.1m超の「世界一大きなコロケ」を手作りするもので、大型クレーン車と巨大フライパンを使って揚げる光景は圧巻です。完成後のジャンボコロケは来場者とともに味わい、五感で楽しめられる厚沢部町の夏の風物詩となっています。

E-mail: [info@town.assabu.lg.jp](mailto:info@town.assabu.lg.jp)

公式ホームページ: <http://www.town.assabu.lg.jp>

たさ」となどの加工品も充実しています。

また、イートインスペースでは、数種類のあつさぶメークインコロケのほか、添加物を一切使用していないソフトクリームなど、旅の疲れを癒す逸品が食べることが出来ます。

令和4年には新商業施設「ASSAN（アッサン）」が開業。厚沢部町自慢の食材を利用したレストランやベーカリーのほか、直径約10mの巨大円形LEDスクリーンを備えた「道の駅シアター」では厚沢部町の風景・歴



余りの歴史を誇る由緒正しき温泉で、郊外の田園地帯にある閑静な温泉として

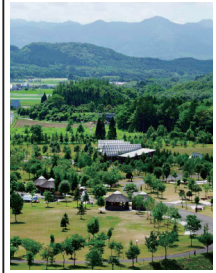
親しまれています。（泉質：緩和低張微温泉）



館地区憩いの家は、地域住民に親しまれているコミュニティを育む和みの湯で、泉質にも優れ、密かな人気を呼んでいます。（泉質：アルカリ性単純温泉）

○うずら温泉中国料理レストラン「彩風塘（さいふうとう）」

うずら温泉内にある中国レストラン「彩風塘」では厚沢部産の新鮮野菜や、檜山管内でとれた魚介類をふんだんに使った本格広東料理をお気軽にお召し上がりいただけます。単品メニューをはじめ、お得なラ



○鶏（うずら）ダムオートキャンプ場「ハチャムの森」  
鶴ダムオートキャンプ場「ハチャムの森」は、平成11年7月にオープンした檜山管内初のオートキャンプ場で、檜山南部と函館方面を結ぶ国道227号の間点にある鶴ダムのすぐ下に広がり、キャンパーをサポートする最新の設備が



おり、バンガローやフリーテントサイトでの宿泊が可能となっています。

になった「黄金千貫」などの原料を鮮度の良いままに搬入し、厚沢部町の豊かな森からもたらされる良質な水を使用して本格焼酎「喜多里」を醸造しています。

令和元年には、妻の「さつき」と娘の「ポテ子」、息子の「はる」の4人家族となり、「おらにもファミリー」として、町内外を問わず各種まつりやイベントに積極的に参加し、厚沢部町の観光大使として全国にPRしています。これからは4人力を合わせて頑張りますので、みなさんの応援をよろしくお願いいたします。

## 厚沢部町へのアクセス

URL: <https://www.town.assabu.lg.jp/page/1792.html>



●お問い合わせ  
○厚沢部町役場 〒043-1113 北海道檜山郡厚沢部町新町207  
TEL 0139-64-3312 FAX 0139-67-2815



# 奥尻町のご紹介

## 市町村から

### ○奥尻町の取組

奥尻町は環境省の脱炭素先行地域に選ばれており、「サステイナブル・アイランド奥尻」として脱炭素まちづくりを目指しています。

取組概要としては、既存の水力発電と地熱・太陽光・木質バイオマス等の多様な再生エネルギーを活用して島全体の脱炭素化を進めるとともに、人口や公共施設等が集中する島内2エリアにある公共施設に自家消費型太陽光発電及び蓄電池を導入しレジリエンスを強化、離島におけるエネルギーコストの低減と電力供給の安定化を図ります。

また、町有バスや公用車のEV化、EV自動運転デマンドバスやグリーンバス

ローモビリティを導入し、高齢者をはじめとする住民の利便性を向上し、脱炭素化の取組を通じて「サステイナブル・アイランド奥尻」を実現します。

### ○おくしりまると祭

既存のイベントを一新して令和6年度より開催されている島内最大のイベント。

産業まつりと観光まつりを兼ねており、島の産業にちなんだアトラクションや食



を楽しむだけでなく、町民も観光客も入り混じり「まるごと」一つになって大いに賑わうイベントです。

### ○島の幸

奥尻の海の幸を代表するものといえば「ウニ」です。最も来島者の多い夏がウニの漁期にあたるため最高の味が楽しめます。ウニ料理にもいろいろあります

が、おすすめは何といっても生ウニたっぷりの「ウニ丼」です。シンプルなのに新鮮なウニのおいしさが際立ちます。



奥尻の海の幸はウニばかりではありません。アワビ、イカ、カレイ、ヒラメ、ホッケ、マス、ソイエビ、タラなど、まさに海の幸総動員といったところです。ツブなどの貝類や、岩ノリなどの海藻類も豊富です。季節の魚介類を産地で味わう、これが奥尻グルメの神髄といえます。

海の幸だけではなく、島の自然が育くむ食材は、お米・野菜・山菜なども揃った食の宝庫と言えます。島の養分を吸って、みずみずしく育ったアスパラガス、行者ニンニクなどの奥尻の山菜、島のお米は離島最北の米どころで、温暖な気候と豊富な水がおいしいお米を育てます。「ふつくりんこ」「ななつぼし」などの人気銘柄米が栽培され、島内の民宿・飲食店で食べることが出来ます。



ほかに、ブドウの栽培からワインの醸造まで島で行う「奥尻ワイン」や島のお米とお水で醸造した特別純米酒「奥尻」と島のグルメと相性の良いお酒もあります。

## 移住について

### ○離島留学『まなびじま「奥尻」プロジェクト』



平成28年4月に北海道から町に移管し、町立高校となったことに伴い、高校のさらなる魅力向上のため『まなびじま「奥尻」プロジェクト』を展開しており、生徒が奥尻島の発展について考え、行動する7つの取組を実施し、地域の将来を担う人材の育成を図っているほか、難関大学への進学も視野に入れた進路指導を展開しています。

平成29年度からは、北海道はもとより、全国から生徒を募集しています。

### ・問合せ

奥尻高等学校ホームページ  
<http://www.town.okushiri.lg.jp/highschool/>



↑  
詳細はこちら

## ○奥尻町創業・雇用拡大事業

奥尻町では、新たに1名以上の従業員を雇用して事業を拡大したり、これから新しく事業を始められる方を対象とした補助制度を行っています。

制度の対象者は、島内これから創業を希望する方、島内で既に事業を営み、従業員を新規雇用して事業拡大する方、奥尻島の特産品の販売などを行うために島外で創業を希望する方、島内の事業者の売上、収益性の向上と新規雇用の拡大に繋がる事業、取組を行う方となっています。詳しいことは奥尻町のホームページ等で公募時期(例年12月～1月)に情報を掲載しますのでご確認ください。

## 子育て納税

奥尻町は、少子高齢化や産業の衰退など、多くの課題が山積みしており、まちづくりや未来を担う子どもたちのために寄附を募っています。皆様の「ふるさと」を思うご支援が奥尻町の未来を拓く大切な支えとなっています。

いただいた寄附金は次の事業に活用させていただきます。

- ①まちの活力を育てる(産業振興)
- ②まちのぬくもりを育てる(保健・医療・福祉の充実)
- ③まちのうるおいを育てる(基盤整備・生活環境の整備)
- ④まちへの誇りと愛着を育てる(教育・生涯学習・文化の充実)

⑤まちの輪を育てる(地域づくり・まちづくり)  
返礼品は寄附いただいた金額に応じて、奥尻町の特産品を各種取り揃えていますので、担当までお問い合わせください。

(担当:総務課)



ふるさと納税ポータルサイトはこちら



●お問い合わせ 奥尻町役場  
〒043-1498 北海道奥尻郡奥尻町字奥尻428番地2  
TEL: 01397-2-3111 FAX: 01397-2-3445

E-mail: [info@town.okushiri.lg.jp](mailto:info@town.okushiri.lg.jp)  
公式ホームページ: <https://www.town.okushiri.lg.jp>

## 奥尻町のご紹介

おくしり



# 「ゆったり流れる島時間 奥尻島」

## 観光スポット

### ○なべつる岩

奥尻島のシンボルであるなべつる岩です。鍋の取っ手(つる)に似ているのが名前の由来で、高さ19・5m、夜はライトアップされ、暗い海に浮かび上がります。



### ○球島山展望台

展望台は島の中央部から北側一帯の大パノラマを180度見渡すことが

### ○宮津弁天堂

もともと島の拠点となる「番所」があった場所です。江戸時代末の天保2年(1831年)に島民が大漁祈願のためお社を建てたのが始まりです。宮津弁天のお社は、海に突き出た岬



### ○北追岬公園

キャンプ場や展望台のある北追岬公園には、世界的な彫刻家・流政之(ながれまさゆき)氏によって制作された彫刻群があります。海原に囲まれた奥尻ならではの自然風景を、ひとき

### ○西海岸の奇岩

海の深い青の陰影、波が削りだした奇岩怪石群など、奥尻で最もワイルドな風景を楽しめます。沖に浮かぶ無縁島をはじめ、ホヤ石、カブト岩など、変化に富んだ荒々しい自然の造形美に、思わず目を奪われることでしょう。

また、奇岩一つ一つにストーリーがあり訪れる人にくすりと笑いが起きるような話や悲恋の話もあります。ぜひ島民に岩の由来をお聞きになってください。

以上のブナを主とした天然広葉樹林です。森の中には散歩道があり、木々の間に続く小道を1時間程で周回できます。



### ○うにまるモニュメント

奥尻を代表する海の幸「キタムラサキウニ」をか



### ○奥尻島津波館

震災から8年経過した平成13年にオープンした「奥尻島津波館」は災害の記憶を忘れないために、またそこから学んだ教訓を後世に残すために建てられました。

### ○佐藤義則展示室

奥尻島出身で、元阪急ブレーブス、オリックスブルーウェーブの投手・佐藤義則氏の功績を展示しています。通算165勝を挙げ、ノーヒットノーランの記録を持つ佐藤氏の有名人です。幼少時代から現在までの写真パネルや現役時代のユニフォームを展示しているほか、ビデオ放映も行っています。

できる絶好のポイントとなっています。標高369・3mで、自動車で気軽に立ち寄れる場所であり、晴れた日には、松前沖の大島・小島を遠望でき、夜は沖合にイカ漁の漁火と満天の星空を美しく見ることが出来ます。秋の紅葉シーズンには、島一帯が赤く染まった景色を一望できます。



### ○神威脇温泉保養所

地元住民の憩いの場として、また、観光客の癒しの場として、昭和53年にオープンしました。約60℃のお湯が毎分30リットル、地下30mからくみ上げている天然温泉(加水・かけ流し)です。あたたかな島のいで湯が心と身体をやさしく解きほぐしてくれます。



### ○復興の森

復興の森は、平成5年7月12日に発生した北海道南西沖地震災害の復興を祈念し、町民に開放している森林です。約10haもの広大なブナの森で、樹齢100年



わ印象深く演出する数々のモニュメントの美しいフォルムが、水平線をバックにくつきりと浮かび上がり、独特の景観をつくり出しています。「自然への敬意」、「追悼」など、そのひとつひとつに、島の人々の想いがこめられています。

たどっています。夜のライトアップと、沖の光の帯で彩る漁火は、幻想的な光景を作り出します。

テーマ別に7つの展示スペースを設け、災害の様子と復興までを伝えています。

## 奥尻町へのアクセス

奥尻町 <https://www.town.okushiri.lg.jp>  
奥尻島観光協会 <https://unimaru.com>

詳細はこちらから→



●お問い合わせ 奥尻町役場  
〒043-1498 北海道奥尻郡奥尻町字奥尻428番地2  
TEL: 01397-2-3111 FAX: 01397-2-3445

E-mail: [info@town.okushiri.lg.jp](mailto:info@town.okushiri.lg.jp)  
公式ホームページ: <https://www.town.okushiri.lg.jp>



## 今金町のご紹介

### 市町村から

#### ○今金町とは

札幌市からは約180キロ、函館市からは約120キロの距離にあり、道南圏に組み込まれている今金町は1897年に瀬棚村(現:せたな町)から分村して「利別村」として自治制を施行して以来、道南圏唯一の「農業のまち」として発展し、品質の高い農産物の産地として知られています。

豊かな自然が残されている後志利別川流域には、先住民であるアイヌ民族もかつて居住しており、現在も「美利河(ピリカ)」や「カニカン」などアイヌ語由来する地名が数多く残されています。

本格的な開拓は明治の中期から始まり、入植者の必死の努力と肥沃な土壌や気

候の恩恵を受けて農業・酪農業が発展し、現在はおかつて一面の原生林であったとは信じられないほど、北海道らしい美しい田園風景が広がっています。

また、区画整備により現在の市街地の基礎をつくった今村藤次郎と金森石郎両氏の姓の冠字をとって市街地を「今金」と呼び、1947年には自治制施行50周年を迎えたことを機に



「今金町」として町制を施行し、先人たちの偉業に敬意を表しています。

1997年には自治制施行100周年及び町制施行50周年を迎え、今金町は次の時代へ向けて歩みだしています。

#### ○特産品「今金男しゃく」

基幹産業は農業で、後志利別川による肥沃な土壌と、周囲を山地に囲まれた内陸性気候を活かし、男爵いもや米、大豆、軟白長ネギや大根など、関東・関西の市場のほか、レストランや食品製造業者でも評価の高い良質の農産物が産出されています。特に男爵いもは「今金男しゃく」の名で2019年度に農林水産省「地理的表示(GI)保護制度」に登録され、男爵いものプライスリーダーにも

なっており「日本一」と評判のほか、道内での流通が少なく、なかなか入手できないことから「幻のイモ」ともいわれています。また、道南地域特産で甘みの強い大豆の「鶴の子大豆」を使用した豆腐等は、札幌や函館等へ出荷され、都市部の消費者にも好評をいただいています。

ます。山車と神輿が町内を練り歩き、商売繁盛や家内安全のほか、自然と豊穡への感謝を表し、翌年の豊作を願う伝統が受け継がれており、踊りの披露や笛・太鼓の音色で町内はお祭り一色となります。本祭のクライマックスには、熱い太鼓合戦が行われ、多くの観客が集います。



#### ○今金八幡宮例大祭

9月には今金町における一大イベントである「今金八幡宮例大祭」が開催され



### 移住者ひろい

#### ○地域おこし協力隊

少子高齢化による人口減少の進行によって、地域力の維持・強化が喫緊の課題となっていることから、担い手となる人材の確保が重要となっていることを踏まえ、地域外の人材を積極的に誘致し定住・定着を図るとともに、豊かな自然環境や産業、歴史、文化等恵まれた地域特性を活かした新たな視点により推進することを目的に、地域おこし協力隊員制度を活用しています。



学び、将来の起業や就職などを今金町で選ぶことができるよう、若者の人材育成・還流の動きを拡大させるようなまちづくりを目指してインターン制度も設けており、要綱が設立された2024年度においても隊員を受け入れ、活動が行われています。

#### ○子育て支援

保育料の助成・同一世帯から2人以上入園する場合、2人目は半額、3人目以降は無料。所得階層に

よって一部助成。

出産に関する支援・第1子5万円、第2子10万円(移住3年以内は半額)、第3子20万円(移住5年以上は半額)の商品券を贈呈。

#### ○医療支援

子ども医療・満18歳までの子どもが保険証を使用し、診療を受けた時の医療費を全額助成。

### ふるさと納税

○今金町ふるさと夢づくり応援寄附金

今金町では、個性と魅力あふれるまちづくりを推進するため、ふるさと納税を受付しております。

いただいた貴重な寄附金は、ふるさと夢づくり応援寄附金として、次のまちづくり分野に活用されます。教育・少子化対策、国内・

国際交流、福祉・医療、環境保全、産業振興、文化・スポーツ、その他の分野

○企業版ふるさと納税  
今金町では今金町デジタル田園都市国家構想総合戦略をベースに、令和6年度末に地域再生計画(第73回)の認定を受け、企業版ふるさと納税の募集を行っております。

○ご寄付に対し返礼品を贈呈しています  
今金町では、寄附の奨励と特産品のPRを図るため、町外寄附者に対し返礼品を贈呈しています。  
今金町ホームページから各ポータルサイトへアクセスいただき、お申込みくださいます。

ぜひ、今金町の自慢の返礼品をご賞味ください。(写真・今金男しゃく)

③移動手段の確保に苦労している方を支援する事業  
などの事業に活用しております。



今金町ポータルサイト





## 「いいまち 今金 夢のまち」

### 観光スポット

#### ○クアプラザピリカ

天然温泉と宿泊施設を備えた温泉宿泊施設「クアプラザピリカ」は1990年12月25日に完成し、30年以上経過した現在も営業を続けています。夏はキャンプやいちご狩り、冬にはパウダースノーが楽しめるスキー場など四季折々のアクティビティも充実しており、1年を通じて様々な楽しみ方ができることが大きな魅力です。

ピリカスキー場は美利河ダムを眼下に初級者から上級者まで楽しめる全5コースがあり、Eコースにはワイドボックスやシンダーレールなどを備えたミニパークも設置

#### ○北海道遺産「今金・美利河の金山遺跡」

「今金・美利河の金山遺跡」は2022年10月13日に北海道遺産に選定されました。

今金町の後志利別川上流域には、砂金採掘の遺跡が延長10km以上にわたって随所に見られ、地表面に生々しく残っています。また源流域には金鉱坑道跡などが残るカニカン岳金山跡があります。

これらは江戸時代前期の松前藩が行った大規模な金山開発によるものとされ

えてあげたい」という地元有志たちの地道な活動が実を結び、念願の源泉を掘り当ててオープンした、今金町営の日帰り入浴施設です。

田園風景によく映えるオランダ風の外観が特徴で、バリアフリーの配慮がなされた館内には地元の特産品の展示ショーケースと大きな休憩スペースがあり、併



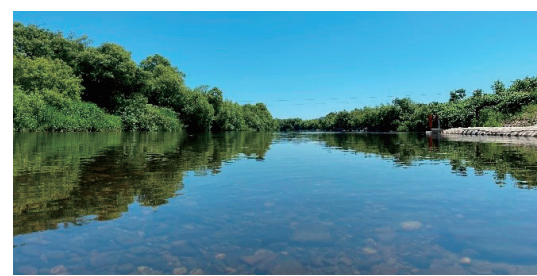
ます。清潔感のある大浴場にはジャグジーやサウナ、水風呂などがあり、全国でも珍しい強塩泉として知られています。

また、2024年7月には「後志利別川清流まつり」が初開催され、アユの塩焼き販売や後志利別川にて小学生を対象としたアユ釣り体験のほか、会場ではヤマメすくいといった清流にちなんだイベントが行われました。

#### ○後志利別川

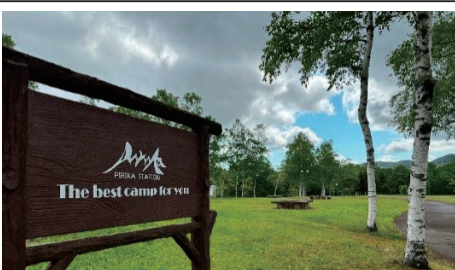
今金町の中心部を流れる「後志利別川」は道南唯一の二級河川であり、毎年7月の河川愛護月間に国土交通省が公表している全国一級河川水質調査「水質が最も良好な河川」に全国最多の24回選出されています。

後志利別川では、サケやマスの遡上河川とされているほか、カワヤツメやアユに内水面漁業権が設定され



されています。広大な芝生のグリーンと白樺のホワイトとのコントラストが美しい「ピリカキャンプ場」は、RVパークやお子さまが楽しめる遊具があり、ピリカの大自然を楽しむながら満喫できる魅力たっぷりのキャンプ場です。

国内最大規模とされている幕末以降にもブームが起き、特に明治期は北海道的な採掘技術を磨く場として歴史的に重要な位置を占めました。昭和前期まで使われていた伝統的な砂金掘り用具も見学することができます。



## 今金町へのアクセス

URL : <https://ima-channel.com/where>

北海道渡島半島の北部に位置し、南はユーラップ山系を挟んで八雲町と、北は狩場山系を介して島牧村、東は低い山地を経て長万部町と、西はせたな町と接しており、道南地域では珍しく海岸線がありません。



設されたホテルやレストランと渡り廊下で繋がっており、環境保護にあたっ

#### ◆札幌から今金町へのアクセス

(鉄道・バス・車両)  
札幌駅～長万部駅  
JRの特急にて 約2時間30分  
長万部～今金  
函館バスにて 約60分  
車では国道230号、または道央自動車道経由で約3～4時間

#### ◆函館から今金町へのアクセス

(鉄道・バス・車両)  
函館駅～長万部駅  
JRの特急にて 約1時間30分  
長万部～今金  
函館バスにて 約60分  
高速バス：快速瀬棚号  
(函館～新函館北斗～今金 直通)  
函館駅前～新函館北斗駅前～今金 約3時間  
車では国道5号、道道42号線、263号線経由、または道央自動車道経由などで約2時間～2時間30分





## せたな町のご紹介

### 市町村から

平成17年9月に北檜山町、瀬棚町、大成町が合併して「せたな町」が誕生しました。

北海道の南西部、日本海に面した檜山管内の北部に位置しています。北は島牧村、東は今金町、南は八雲町に接しており、西は日本海を挟んで奥尻島を望むこ



とができます。北部と南部に広がる産地の中間を1級河川である後志利別川が流れ、北部には道南最高峰の狩場山南部には遊楽部岳など千メートル級の山々が連座し、総延長78kmの海岸線を彩る無数の奇岩や断崖絶壁は雄大な自然と日本海とが織りなす美しい色合いと迫力ある風景となっています。自然が創った芸術品とも呼ぶべき日本海の変化に富んだ海岸線はマリンスポーツや海水浴客で夏場のシーズンは賑わいをみせています。

また、雄大な山々の景色や緑にも恵まれ美しい川や溪谷、滝、公園など観光・レジャースポットとして楽しめる場所が豊富にあります。また、中山間地域では地理的特性を活かした有機農産物の生産が活発に行われています。

資源を一層活用し、町に興味・魅力をもってもらえるよう関係人口の裾野の拡大を目指しています。

### 〇産業

当町の基幹産業は1次産業であり、豊かな自然環境を活かした農業・漁業が幅広く展開されています。

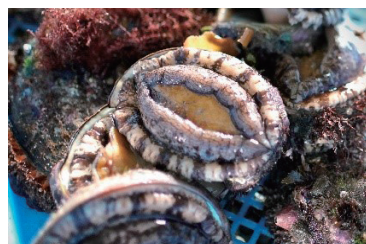
農業においては、農畜産物の地域ブランド化の推進と共に高付加価値化を目指し、水稲や花卉、トマト、ブロッコリーなどの生産に注力し、なかでもトマトは「潮トマト」と銘打って全国へ出荷されています。また、中山間地域では地理的特性を活かした有機農産物の生産が活発に行われています。

漁業においては、「つくり・育て・売る」漁業の構築を目指し、町、漁業者、

漁協などの関係機関が連携して、付加価値の高い魚種（ウニ、アワビ、ヒラメ、トラウトサーモン等）の増養殖事業なども積極的に進め、販路の拡大やブランド化に努めています。

### 〇食

新鮮で豊かな農水産物に恵まれた「せたな町」では、地元で採れた食材を使ったメニューを堪能することができる飲食店が町内各所に点在しています。なかには50年以上続く老舗大衆食堂のカレーを求めて遠方から来る方や漁師直営店ならではの新鮮な海鮮丼、豊富な地場産物を活かしたメニューが並ぶ居酒屋などが様々あります。



### 移住先について

移住先を考える選択肢として、町の様子を知り、暮らしを実際に体験できる機会を提供するため、「お試し暮らし体験住宅」を行っています。

海沿いにある太櫓地区に1棟整備し、最高ランクの水質である「ふとろ海水浴場」や多くの釣り人が訪れる太櫓漁港も歩いて行ける距離にあり、夏の夕時には水平線を赤く染める見事な夕陽を見ることが出来る絶景スポットに位置し、せたなの田舎暮らしを体験することが出来ます。



また、移住者向けの住環境整備支援として、住宅建築・購入をされた方には町から助成を受けられる制度も用意してありますので、ぜひ一度「せたな町」へお越しください！

また、町内に空家を有する方と町内に物件を探している方と結ぶ「空家バンク制度」も実施していますので、移住を検討の際に利用することもできます。



※対面・オンラインの両方対応可

また、町内に空家を有する方と町内に物件を探している方と結ぶ「空家バンク制度」も実施していますので、移住を検討の際に利用することもできます。

また、町内に空家を有する方と町内に物件を探している方と結ぶ「空家バンク制度」も実施していますので、移住を検討の際に利用することもできます。

また、町内に空家を有する方と町内に物件を探している方と結ぶ「空家バンク制度」も実施していますので、移住を検討の際に利用することもできます。

### ふるさと納税

町では次世代が育つ町、移住しやすい町、安心して暮らせる町をキーワードにまちづくりを推進しておりますので、多くの皆様からのご支援よろしくお願いいたします。

### 〇寄附金の使い道

町では次の5つの事業に貴重な財源として活用させていただきます。

- ・農林水産業・商工業等の振興発展に資する事業
- ・公共施設整備や生活交通確保に資する事業
- ・子育て支援や人材育成に資する事業
- ・健康増進や医療・福祉の充実に資する事業
- ・地球環境に配慮した省エネ・再エネに資する事業

### 〇寄附者へのお礼

寄附いただいた方へ返礼品として寄附金額に応じた「せたな町特産品」(いくら、うに、えび等の海産物や豚肉、チーズ、米の各種山海の幸を各種取り揃えています)を贈呈しています。



この機会に一度せたな町のHPをご覧いただき、寄附のご検討いただけますと幸いです。



## せたな町のご紹介

### 「北海道最西端のまち せたな町」

#### 観光スポット

##### 〇三本杉岩

高さ約30m程の大きさであり、岩の上層部には岩松や寒冷地特有の植物が緑を添えており、2本は根元でつながっているが、残りの1本は孤立している。その様子を昔の詩人が「主は瀬棚の三本杉よ、二本離れてわしゃ一人」と満たされぬ愛の悲しみを残る一本から感じ取ったもので三角関係の悲恋に見立て詠まれたものと言ひ伝えが残っています。



##### 〇浮島公園

沼には昔々竜神が住んでいたという伝説が残りに、アイヌの時代から大切に守られてきました。水面には大小数個のハンの木

また、沼の周囲は歩道が整備されており、20〜30分程度で一周できるのでマイナスイオンの森林浴を堪能することができ、春は湿原に群生する水芭蕉のほか黄色い花をつけた「エゾノリュウキンカ」が咲き、秋には沼を取り囲む木々が色づき紅葉散策や周辺は野鳥



##### 〇太田神社

北海道最古の山岳霊場で、断崖絶壁にそびえる太田山山頂付近の洞窟に創立されている神社で、アイヌの人々は蝦夷地の守護神として奉り、航海の安全と霊神の加護として信仰されてきました。一度は失火により洞窟内の全てを消失してしまいましたが、新たに女人遙拝道が建設され、現在は「道南五大霊場」、「日本一参拝が危険な神社」と紹介

され多くの参拝者が訪れています。

##### 〇立象山展望台

巨象が立っている姿に似ていることから「立象山」と名付けられました。山の上に整備され、キャンプ場も併設され、海から山まで360度パノラマが楽しめる展望台からは風力発電の風車群、晴れた日には日本海沖に奥尻島を望むことができます。

〇三本杉海水浴場  
水質最高ランクを獲得している瀬棚区の海水浴場であり、透明度抜群の海を目当てに例年道内外の多くの海水浴客で賑わいをみせています。



三本杉岩

やヤチダモが生い茂る浮島が点在し、風と共に湖面をゆったり静かに漂う風光明媚な佇まいを見ることがができます。

の宝庫としても知られ、クマゲラ、カワセミも多く生息しており、せたなの四季を感じることができます。

### せたな町へのアクセス

#### ACCESS

##### 【空港・駅から】

東京・羽田空港から函館空港まで約80分

函館空港から JR 函館駅まで約20分

JR 函館駅から長万部駅まで特急で約70分

長万部駅から北檜山バスターミナルまでバスで約100分

##### 【車の場合】

函館から車で約2時間

札幌から車で約4時間



町HP: <https://www.town.setana.lg.jp/access.html>

観光協会HP: <http://setanavi.jp/>

詳細はこちらから→



せたな町



せたな観光協会

#### ●お問い合わせ

〇せたな町 〒049-4592 北海道久遠郡せたな町北檜山区徳島 63 番地 1  
TEL: 0137-84-5111 FAX: 0137-84-4657

E-mail: [setana.machidukuri@town.setana.lg.jp](mailto:setana.machidukuri@town.setana.lg.jp)

公式ホームページ: <https://www.town.setana.lg.jp>



# にき 仁木町のご紹介

## 市町村から

### ○仁木町概要

北海道の西部、後志管内北部にあつて北は余市町に隣接、東は南走する頂白山系をもつて赤井川村、また西南は八内岳から稲穂嶺、三角山に至る山嶺を隔てて古平町、共和町及び倶知安町とそれぞれ境を画し、小樽市までは24km、札幌市までは58kmと道央圏に近接しています。

### ○北海道の名づけ親・松浦武四郎と仁木町

安政4年（1857年）、箱館奉行から蝦夷地山川地理取調方の命を受けた松浦武四郎が巡検の途中、岩内から余市に至る新開の「余市越え山道」を検分しており、その出来栄に感じて「岩ほ切 木を伐

草を茹けて みちたいらけし 山のかけとも」と歌を詠んでいます。その後、余市に向かった松浦武四郎は、現在の仁木に当たる地域の山野に着目して、その豊富な樹木や余市川の水利に恵まれた広い沃野、余市、小樽を控えた地理的好位置などを挙げ、開墾の必要性を説いたといわれています。その意味でも松浦武四郎は仁木町にとって、開拓の黎明を告げる先覚者であつたといえます。

町内には、松浦武四郎の偉業をしのび稲穂峠で詠んだ「余市越え山道」の和歌を記念した石碑が建てられており、石碑のある国道5号稲穂トンネル仁木口付近は、旧余市越え山道の跡がわずかに残り、道端には小滝（まつらの滝）の清流が流れ落ち、当時の旅人達が、しばし腰を下ろし、のどを潤したであろう風情がしのばれる静かな場所になつています。

### ○清流余市川と仁木町

余市川は朝里岳、余市岳に水源を発し、地域の母なる川です。



仁木町はこの余市川の中流域に位置し、開拓期、徳島県出身の仁木竹吉率いる移住団と旧山口藩主であつた毛利家臣栗屋貞一を委員長とする開拓団により、流域のほとんど全域にわたつて開拓が進められました。

余市川のもたらす沃土、水運の便などに注目されて開拓地として選ばれたといわれており、木材の輸送、水田への引水、河川敷にある豊富な砂利は道路資材として使われました。徳島県団にとっては故郷の清流吉野川を思い起こす心の拠り所として、一方で氾濫を繰り返しては人々を悲境に陥れる暴れ川として営々と堤防の建設、河川改修に取り組んできた歴史もあります。



## 移住のついで

### ○子育て支援

町では、高校生まで子ども医療費の無償化、第3子目からの出産祝い金支給、高等学校通学費助成、学校給食費の無償化など子育て支援にも取り組んでいるところです。また令和6年3月には子育ての支援拠点となる「仁木町すこやか子育て支援センターikoro（イコロ）」が完成し、運営を開始しました。

### ○移住・定住支援

町では、移住者・子育て世帯及び若年世帯の定住化の促進を目的に、新築住宅・改修住宅を取得する方を対象とした助成を行っております。

また、町内に点在する空き家等の利活用に関する支援のほかに二地域居住を含めた移住しやすい環境づくりに取り組んでいます。

## ふるさと納税

### ○事業活用の一例

ふるさと納税（寄附）  
教育・子育て・スポーツ・文化・歴史  
・出産祝金事業  
・乳幼児等医療費助成経費  
・放課後児童健全育成事業  
・定住促進住宅助成事業  
など  
福祉・環境  
・合併処理浄化水槽整備事業  
・ぬくもり灯油助成事業  
など  
地域交流・産業振興・観光  
・農業振興事務経費  
・農業担い手育成事業  
・新規就農者施設園芸ハウ  
・新設補助事業  
・ワイン産地持続化事業  
など  
今後、町の活性化が図られる事業を実施していきます。

### ○寄附へのお礼

ふるさと納税のお礼と町特産品のPRを図るため、ご寄附いただいた方へ寄附額に応じて町の特産品を贈呈しております。  
手続きの方法等詳細につきましては、役場ホームページをご覧ください。

## にき 仁木町のご紹介



仁木町公式イメージキャラクター「ニキボー」



返礼品の一例 シャインマスカット



# 仁木町のご紹介

## 「果実とやすらぎの里・仁木町」

### 観光スポット

○農村公園フルーツパークに  
「果実とやすらぎの里」をイメージした農村公園です。

仁木町の魅力をギュッと詰め込んだように果物や花が園内を彩ります。町特産のさくらんぼ、ブルーベリーなどを栽培している果樹見本園や果樹の中に佇む宿泊施設、日本



○観光果樹園・直売所  
仁木町の基幹産業は農業です。果物を主体とする仁木地区、水稲に取り組む大江地区、銀山地区からなっています。また、全町的にはミニトマトにも取り組んでおり、全国屈指のブランド産地になっています。

ます。生産者の人柄や丹精込めて栽培した農作物に直接触れ合うことができる体験は、産地ならではの貴重な時間になるでしょう。

○さくらんぼフェスティバル・フルーツ&ワインマラニック  
「さくらんぼフェスティバル」は、例年6〜7月に果樹観光シーズン開幕イベントとして開催しています。1万人が集う「北海道1のさくらんぼのお祭り」です。



提供される地元の農産物やワイン、ジュースをご堪能いただけます。

○ワインツーリズム  
現在、隣接する余市町と連携して「余市・仁木ワインツーリズムプロジェクト」事業を実施しています。

美しい景色や産地の風土・文化の発見、ワイン作りに関わる人との出会い、地場農産物を用いた食事はワインツーリズムの魅力です。

仁木町では古くからワイン用ぶどう栽培に取り組んできた歴史があり、ここ数年は新規ワイナリーの参入により本格的なワイン作りもスタートしました。町内のワイナリーと町産ワインのファンになっていただき、その成長を温かく見守ってください。



行っています。ワイナリー建設が進められ、刻々と移り変わっていくその風景を目にすることができるようにも楽しみ方の一つです。

○後志自動車道仁木IC余市IC開通  
令和7年3月23日に町内に初めての高規格道路である後志自動車道仁木IC（延長3.3km）が開通しました（延長3.3km）。本区間は後志地域と札幌市、新千歳空港とのネットワーク機能を

海を眺望する展望台など来場される方に潤いとやすらぎを与えます。

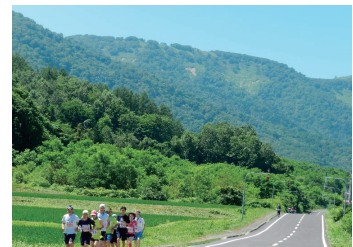
○コンサドーレ仁木パーク  
美しい景色と健康的な環境を整えた仁木町のアウトドアスポーツエリアです。夏はパークゴルフ、野球、テニス、アスレチック、冬にはスキーと子どもからお年寄りまで四季を通じて楽しむことができる公園です。



町内には多くの観光農園や直売所が立ち並んでおり、四季折々のくだもの狩りや農産物の販売をしています。

- ・さくらんぼ狩り 6月下旬〜8月上旬
- ・いちご狩り 5月中旬〜6月下旬
- ・ブルーベリー狩り 7月下旬〜8月中旬
- ・ぶどう狩り 8月下旬〜10月中旬
- ・りんご狩り 9月中旬〜10月下旬
- ・なし狩り 10月上旬〜10月中旬

くだもの狩りは、旬で新鮮なおいしい果物が食べられ、農業収穫体験も大きな魅力になっています。「さくらんぼってどんな木に実っているの?」「ぶどう棚って何?」「どうやって収穫するの?」そんな皆さんの疑問が仁木町で解決し



す。飲食店の出店のほか、特産品であるさくらんぼの展示や即売会、さくらんぼの種飛ばし大会など、食・観・遊と三拍子揃っています。9月には「フルーツ&ワインマラニック」を開催しています。町内の豊かな自然のなかをゆったりと走りながら町内で生産されるフルーツやワインを楽しんでいただくイベントです。風光明媚な仁木町の景色を見て、感じていただきたいながら、エイドステーションで

町では、余市川流域を日本一、そして世界を代表するワイン産地にしたいという願いを込めて、ワイナリー経営やワイン用ぶどう栽培を目指す方の支援を

図り、物流強化、観光振興、救急搬送の安定性・速達性向上が図られ、地域振興の発展が期待されます。

### 仁木町へのアクセス

#### 公共交通機関ご利用の場合

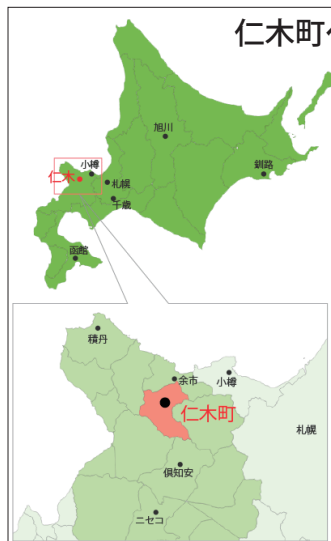
**JR 線利用の場合**  
新千歳空港(1時間45分)→札幌(1時間2分)→小樽(30分)→仁木  
**路線バス利用の場合**  
新千歳空港(各社高速バス)→札幌(中央バス)→小樽(中央バス・ニセコバス)→仁木  
※中心部へは仁木役場前で下車

#### 車利用の場合(札幌から約58Km)

**推奨最速ルート**  
札幌自動車道→後志自動車道経由、仁木ICで下車 札幌西ICから仁木町観光管理センターまで37分

・仁木町 HP  
<https://town.niki.hokkaido.jp>

・観光協会 HP  
<https://www.niki-kanko.jp>





## しままき 島牧村のご紹介

### 市町村から

#### ◆グルメ情報◆

みなさん、島牧村のほっけ食べたことありますか？その脂乗りのよさと肉厚な身に多くの方が感動させられています。

島牧村のホッケは深海を泳いでいるため、寒さをし

のぐために脂を蓄えているといわれています。だから

脂乗りが抜群！焼いたほっけをまずはそのまま食べ、ほっけ本来の旨みと脂を楽しんで。その後は、大根おろしやレモン、すだちをかけてさっぱりと。ご飯やお酒が進むこと間違いなしです。

#### ◆イベント◆

○狩場山C A T スキーツアー

平成27年度から狩場山C A T スキーツアーが開始され、これまでに多くの方が狩場山の滑走を楽しんでいます。

10月20名の少ない人数

で、広かつ非圧雪の斜面を滑走できるのが本ツアーの魅力です。有名リゾート

地に劣らない雪質の狩場山で、自分だけの「プライベートゲレンデ」を味わうことができます。

今後も、多くの方々に冬の狩場山を楽しんでいただけたらと思っています。

#### ○あめますダービー

釣ったあめますの大きさを競う大会で、12月3月までの冬の期間に毎年開催されています。

3月には表彰式も開催され、入賞者にはトロフィーや賞状のほか豪華賞品がプレゼントされます。

毎年多くの釣り人が入賞目指して熱戦を展開しています。みなさまのご参加をお待ちしています。



### 移住について

○島牧村×事業構想大学院大学 地域おこし協力隊事業

令和6年12月に、島牧村と東京に本拠地を置く社会人大学院「事業構想大学院大学」は地域活性化を目的として連携協定を締結し、10年間、毎年10人の「地域おこし協力隊員 兼 大学院生」を募集します。この取り組みは日本初の試みで、テレビ、新聞などで取り上げられ注目を集めています。

村及び大学院の選考を通過した協力隊員は道の駅に所属し、地域協力活動に取り組みながら、平日夜間、土曜日に大学院の授業をオンラインで2年間受講し、卒論として島牧村での起業をテーマとした「事業構想

計画書」を作成します。

協力隊の任期が終了した後、島牧村に定住する場合、この「事業構想計画書」の内容を実行し、すぐに事業を立ち上げることができるとが特徴です。

大学院の2年間の学費は村が負担し、本人の支払いは発生しません。

村内には事業者が少なく、雇用の受け皿があまりないことが移住へのネックとなつていますが、地域おこし協力隊として本事業に参加することによって、起業や事業承継などに必要なスキルや人脈を得て、自らが経営者となり村での経済活動に取り組むことにより、協力隊員自体が移住者となるだけでなく、起業した法人における雇用創出及び更なる移住者の増加が期待できます。

また、地域協力活動の中

で、移住者向けの島牧村に関する情報提供や、居住のための物件に関する情報、問合せ窓口の設置なども検討していきたいと考えています。

この事業をきっかけとして、移住人口以外にも村を行き来する交流人口の増加も期待できることから、村としてもさらに力を入れて取り組んで参ります。



### ふるさと納税

本村のふるさと納税返礼品には、エビやたこしゃぶ、ほっけなどの海産物のほか、トマトジュースなども出品されています。

先ほど紹介した、脂乗り抜群の「ほっけ」はふるさと納税の返礼品となっています。

また、島牧村で育ったトマトを使ったトマトジュースは、そのトロリとした濃厚さで大変人気を集めていて、思わずリピートしてしまう逸品です。

島牧村に行くのは難しいけれど、島牧の味覚を体験してみたい方は、ぜひこのふるさと納税をご活用ください。

島牧村出身の方も、このふるさと納税で懐かしい島の味を思い出してみませんか。





## 「島牧村で自分だけの特別な時間を」

### 観光スポット

#### ◆島牧の山を楽しむ◆

○賀老高原（がろうこうげん）  
賀老高原には4つのおすすすめ観光スポットがあります。

2つ目のおすすめ観光スポットは「昇龍の橋（しやうりゅうのはし）」です。こちらは、賀老の滝の上流にある長さ39mの赤い吊り橋です。フォトジェニックな橋で、写真撮影におすすめのスポットです。

1つ目に紹介するのは、

大迫力の「賀老の滝」です。高さ70m、幅35mを誇る「賀老の滝」は、日本の滝100選に選出されています。「賀老の滝」の飛瀑はまさに圧巻で、実物を目の当たりにしたときの迫力は言葉では表すことができないものです。

現在、賀老の滝へ続く遊歩道は落石の危険性のあるため通行止めとなっていますので、第一展望

台からの見学はできません。雪解けの6月頃より第2展望台からの見学が可能となります。



3つ目の見どころは、「賀老溪谷の紅葉」です。昇龍の橋から見る紅葉が絶景で、10月に見ごろを迎えます。川のせせらぎと紅葉の癒し効果は抜群で、心身ともにリフレッシュすることができます。

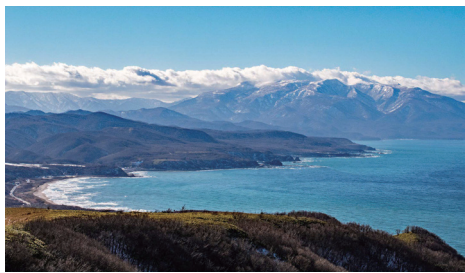


最後に紹介するのは、「ドラゴンウォーター」という天然の炭酸水です。人工の炭酸水ではなく、岩の割れ目から天然の炭酸水が湧

き出ています。飲用すると貧血や便秘への効果が期待できます。

#### ○狩場山

登山やCATスキーで人気となっている狩場山は、標高1520mで、道南最高峰です。頂上までの登頂時間は約2時間30分で、その先には日本海の美しい景色が広がっています。



#### ◆島牧の海を楽しむ◆

○江ノ島海岸（えのしまかいがん）、大平海岸（おおひらかいがん）、本目海岸（ほんめかいがん）  
島牧村には江ノ島海岸・大平海岸・本目海岸の3つの海岸があり、すべての海岸で海水浴やキャンプを楽しむことができます。

また、冬（12月～3月）にはあめますダービーが開催され、これらの海岸で多くの釣り人が白熱した戦いを繰り広げています。

江ノ島海岸は、日本の渚



100選に選出されており、美しい砂浜が約4kmにわたって続いています。

○茂津多岬灯台（もつたみさきとうだい）  
茂津多岬灯台は、あまり知られていませんが、実は日本一の高さを誇る灯台です。天気の良い日には、奥尻島を望むことができます。

◆島牧の温泉を楽しむ◆  
○モッタ海岸温泉・宮内温泉  
島牧村にはこの2つ温泉があり、どちらも効能が素晴らしく、旅の疲れを癒す最高のスポットとなっています。日帰り入浴、宿泊どちらも可能で、宿泊の際には海鮮料理などを楽しむことができます。

予約や宿泊料金は、宿

泊先へお問い合わせください。

## 島牧村へのアクセス

<https://www.vill.shimamaki.lg.jp/category/detail.php?category=content&content=149>



J R & バスでのアクセス（札幌駅出発）

○J R  
函館本線快速列車に乗車⇒小樽駅にて普通列車に乗り換え⇒黒松内駅にて下車

○バス  
黒松内駅前からニセコバス寿都行きに乗り換え⇒寿都にて栄浜（原歌）行きに乗り換え⇒目的地にて下車

バスでのアクセス（小樽駅出発）  
小樽駅前から中央バス岩内行きに乗り換え⇒岩内にてニセコバス寿都行きに乗り換え⇒寿都にて栄浜（原歌）行きに乗り換え⇒目的地にて下車  
尚、土曜・日曜・祝日は寿都―島牧間において代替バスが運行中です。

日本の渚100選に選ばれた「江ノ島海岸」



# 留寿都村のご紹介

## 市町村から

### イベント

#### 産業まつり

「ルスツ産業まつり」は、毎年8月下旬に開催される夏のお祭りです。道の駅230ルスツ裏の特設会場にて、留寿都村の特産品である農産物が勢ぞろいし、即売やバーベキューなどが行われるほか、野菜の



詰め放題も人気です。札幌市など遠方からの来場者も多く、とてもにぎやかな1日となります。

#### ルスツふるさとまつり



「ルスツふるさとまつり」は、留寿都村の代表的なお祭りの1つで、毎年9月上旬に開催されています。パン食い競争などの参加型イベントや、歌謡

ショー、バンド演奏などが行われ、村民のみならず、近隣町村からも多くのお客さんが来られるお祭りです。

#### グルメ

・『元祖』みそまんじゅう 地方からわざわざ買いに来てでも食べたい、大人気の留寿都村自慢の銘菓です。100年近い伝統を守



り続けてきた素朴な風味が口の中いっぱいに広がります。

#### ルスツ豚（ルスツ高原豚）、ルスツ羊蹄ふた



留寿都村には2件の養豚事業者があり、自然豊かな環境で、それぞれにのびのびと育てられています。ご購入は直売所のほか、オンラインストアからどうぞ。また、ふるさと納税の返

#### ふるさと納税

平成26年（2014年）に留寿都村観光協会の観光キャラクターとして誕生しました。留寿都村の名産である「大根」と美しい「羊蹄山」がモチーフとなっています。村のイベントに現れることがありますので、ぜひ会いに来てください。



## 移住について

### ○移住定住支援事業補助金

留寿都村にご自身が居住するために新築住宅の建設、建売住宅又は中古住宅の購入に係る経費の一部を助成しています。新築住宅及び建売住宅は50万円、中古住宅は30万円の補助金額を基準に、中学生以下の子どもが同一世帯に属する場合は、国ZEH補助金の対象となる住宅の建設の場合、それぞれ、20万円が加算され、最大で90万円の補助金額となります。

### ○空き家バンク

留寿都村では空き家バンクを運営しています。現在古住宅は30万円の補助金額を基に、中学生以下の子どもが同一世帯に属する場合は、国ZEH補助金の対象となる住宅の建設の場合、それぞれ、20万円が加算され、最大で90万円の補助金額となります。

### ○住宅リフォーム支援事業補助金

住宅のリフォームに係る経費の一部の助成を行っています。村内事業者限定ですが、中古住宅購入などの際にご活用いただけます。

空き家バンク  
詳細はこちらから→



## ふるさと納税

留寿都村へのふるさと納税を募集しています。留寿都村へ寄附をされた方には、村内宿泊施設で利用できる電子クーポン、豚肉、野菜等を返礼品として差し上げます。

また、いただいた寄附金は返済不要な奨学金の給付や18歳までの医療費助成など、特に子育て支援対策に活用させていただいております。



詳細はQRコードからご確認ください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ANAふるさと納税





# 「暮らしを楽しむ村 留寿都村」 観光スポット

○ルスツリゾート遊園地  
絶叫マシーンをはじめとする豊富なアトラクションは、楽しさもスケールも北海道最大級です。1日中遊んでも遊びきれない究極のファミリーメントパークです。



○ルスツリゾートスキー場  
ウエストマウンテン、



○ルスツリゾートゴルフ72

がいも、だいこん、アスパラガスなどをお手ごろな価格で購入できます。また、令和7年4月18日に直売所がリニューアルオープンしました。豊富な品揃えで皆様をお待ちしております。



○ルスツふるさと公園

小さな子どもも安心して遊ぶことのできる遊具を設置していますので、ご家族でお越しください。

○ふれあい公園パークゴルフ場

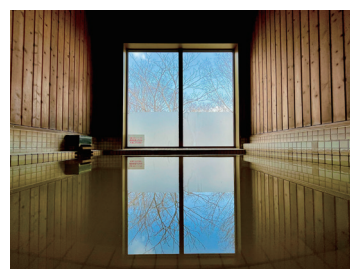


○尻別岳



あります。そこから標高1107mの山頂まで片道100分ほど、約3kmの道のりです。山頂からの眺めがよく、羊蹄山を正面に洞爺湖と内浦湾、遠くは駒ヶ岳を望むことができます。

○ルスツ温泉  
小さな日帰り村営温泉ですが、源泉かけ流しの贅沢な湯を堪能できます。ナトリウム塩化物泉の泉質がとてもなめらかで、特に神経痛、筋肉痛、疲労回復などに効果があります。



イーストマウンテン、マウントイゾラの3つの山を持つ巨大スキーリゾートです。全37コースの多彩なコース展開、総滑走距離42kmは北海道最大のスケールです。壮大なゲレンデと大パノラマ、上質なパウダースノーは、まさに北海道ナンバー1と呼ぶにふさわしいスキーリゾートです。1番人気のマウントイゾラの山頂からは、洞爺湖や有珠山、羊蹄山の雄姿が一



有名プロゴルファー監修の全4コース、72ホールのゴルフ場です。羊蹄山を望む雄大なロケーション、北海道の自然を生かした多彩なコース設計が、ゴルフファンを虜にしています。

○道の駅230ルスツ

国道230号沿いにある道の駅「230ルスツ」は、留寿都村の自然が育んだ農作物が人気です。留寿都村の特産品であるじゃ



## 留寿都村へのアクセス

留寿都村ホームページ  
<https://www.vill.rusutsu.lg.jp>



交通アクセス  
詳細は  
こちらから→





# 積丹町のご紹介

## 市町村から

### ○積丹町について

積丹町は、北海道の西海岸に突き出た積丹半島の先端部分に位置し、漁業とともに農業や観光業が盛んなまちです。

神威岬に代表される断崖絶壁の海岸は、ニセコ積丹小樽海岸国定公園として北海道で唯一の海域公園に指定され、澄みわたる海の色は「積丹ブルー」と称えられる美しさです。

また、半島の中央に位置する余別岳（標高1298m）、積丹岳（標高1255m）を源とする美国川、入舸川、余別川などの流域に集落が形成され、森・川・海の豊かな自然に恵まれています。

### ○名前の由来

積丹町はアイヌ語で「シャク」と「コタン」の2語を合わせたものです。「シャク」は夏、「コタン」は集落または郷土のことで「シャク・コタン」夏の場所という意味があります。

### ○歴史

約400年前の慶長年間（1596～1615年）に松前藩の領地と定めてから始まっています。

宝永3年（1706年）

に美国、積丹両場所に連上屋が設けられると、両場所は次第にニシン場として開発され、積丹町は有数なニシン場として有名になりました。

明治後期から大正期にわたってニシン漁が最盛期をむかえ、紺碧の海に大挙し

て押し寄せたニシンの大群で銀色に染まり、千石場所として大いに栄えました。「やん集」と呼ばれた出稼ぎ漁業者たちは魚影を追いつつ、数々のドラマを生んだ彼らの代表作として「ソーラン節」が誕生しました。ソーラン節は、あふれんばかりのニシンでいっぱい網を船へ引き上げる

ときの「力入れ」の唄であり、積丹町はその発祥の地と言われています。

### ○美国神社例大祭

江戸時代からある美国神社の伝統的な行事です。

美国神社例大祭は、毎年7月4～6日の3日間にわたり豊漁・豊作を祈願し、港では海上渡御が、市街地では神輿や山車によるにぎやかな連行が行われます。



この祭りのメインイベントである「天狗の火渡り」圧巻です。は、5日と6日の夜に境内で行われ、町を練り歩いた

## 官民連携の取組

町では、少子高齢化と地方の人口減少・過疎化が進行する時勢の中で廃校や農用地の低利用化、基幹産業や地域経済の活性化が大きな課題となっており、町が持つ地域資源の優位性を町外者・民間の立場から、活用の可能性を探るための官民連携による取組を推進してきました。

町が行ってきた官民連携の取組の一部をご紹介します。

### ○積丹町地域活性化協議会・民間提案を拾える仕組み

積丹町には町と町内外の産業経済団体で構成する「積丹町地域活性化協議会」があり、その構成団体の一つに町内への新規参入企業等で構成する「実のなる杜

推進協議会」があります。この枠組みにより、民間企業等から町や産業経済団体等へ構想や想いを伝えていただくと共に課題解決手法の検討や民が持つニーズの把握等が可能となっています。

令和6年度事業としては「エア・ウオーター北海道様の寄付基金「ふるさと応援H（英知）プログラム」の支援をいただき、ウニ殻を素材とした肥料の製造とブルーカーボンの事業化等を目指すプロジェクトを実施したほか、日本財団様に助成いただき「神威岬」でのナイトツアー等体験型観光メニューの造成等を行いました。これらの検討・実施に当たっては本協議会での活発な議論を経ており、現在においても様々な地域振興・官民連携の意見交換が

続いており、地域の想いを一つにする重要な場となっています。

### ○地域おこし協力隊を活用した担い手の確保

町では地域おこし協力隊制度を活用し官民連携による担い手確保にも努めています。

平成21年度に第1号の隊員を任用し、庁内に配置していましたが、地域の事業者等に配置することで、より隊員の目標達成に係るマッチングや地域の振興に繋がると考え、令和4年度より町内事業者へ委託という形で直接地域おこし協力隊を配置し、以降、令和6年度末までに21名の隊員が町内事業者で活躍してきました。

## ふるさと納税

積丹ブルーに輝く海、四季折々の姿を見せる山、潮風香る岬の景色。この町に惹かれ、心に残る時間を過ごした―そんな積丹応援団の皆様の想いが、積丹町の力になっています。

ふるさと納税でいただいたご寄附は、豊かな海を守る環境保全、漁業・農業や観光の基盤整備、子どもたちの教育や福祉の充実など、さまざまな町づくりに活用されています。

返礼品には、夏発送の生ウニや、地元素材にこだわったクラフトジンなど、積丹町の「おいしい魅力」を詰めた品をご用意しています。また、積丹町を旅行や出張で訪れた際に寄附していただくと、寄附金額に応じてスマートフォンに電子商品券が贈られる「旅先納税®」という仕組みもあり、この電子商品券はお土産のほか、飲食、宿泊、アクティビティ等の決済に利用できます。

これからも、積丹町らしさを守り育む取組に、ぜひご賛同・ご協力ください。





# 積丹町のご紹介

## 「ソーラン節のふるさと 積丹町」

### 観光スポット

#### ○神威（かむい）岬

大海原へとダイナミックにせり出した神威岬の先端までは約800mあり、数ある積丹（しゃこたん）半島の岬の中でも、鋭く突き出た地形が特徴的で北海道遺産にも選ばれています。両側に日本の雄大な眺めが広がる遊歩道「チャレンカの小道」を歩けば、潮風にあおられたり、きつめの傾斜を上り下りしたりと冒険気分を味わうことができ、約25分ほどで周囲300度の丸みを帯びた水平線を見ることが出来ます。

また、神威岬の先端から見る神威岩は、澄み切った海中に立ち尽くす乙女の化身ともいわれています。



国内唯一の灯台レンズ「第一等不動レンズ」

#### ○島武意（しまむい）海岸

2人で並んで歩けるくらいの幅の暗いトンネルを抜けると、明るい積丹ブルーの海が目飛び込んできて、絶景が一気に広がります。「日本の渚百選」に選ばれている島武意海岸は、断崖絶壁が続く透明度



指すことができます。展望台からは、青く澄んだ日本海と断崖絶壁が続く海岸線、さらに美国の街並みも見渡せます。

#### また、黄金岬の先にある

美国のシンボル・宝島はかつて大きな富をもたらしたニシンの大群が押し寄せたことから、その名がついたといわれています。宝島は、真上から見るとハート型の形をしており、パワースポットとして人気が高まっています。

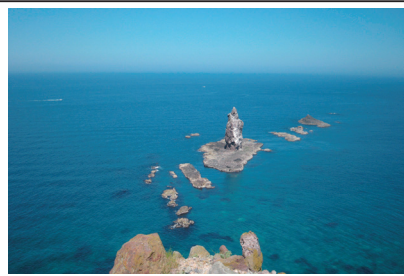


感することが出来ます。船上から望む数々の奇岩や口マンあふれる伝説に彩られたダイナミックな海岸線、船底のガラス越しには北海道唯一の海域公園を泳ぐ魚やウニを手にとるのを見る事が出来ます。また、カモメの餌付け体験もあり、積丹の景色を感じ、楽しむ事が出来る内容となっています。



○岬の湯しゃこたん  
町民にも人気の岬の湯  
また、一棟貸しの宿「フロリダ」も令和6年同施設内にオープンし、豊かな自然

す。遊歩道の途中から見える水無の立岩などとともに、岬の景観をより印象的にしています。

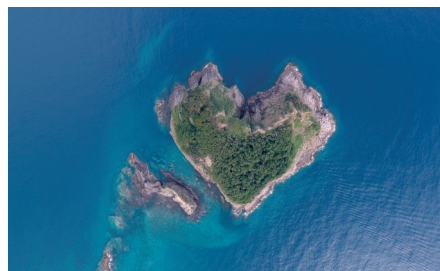


の高い海からは岩盤がのぞき、岩のある入り江に波が打ち寄せる様をいつまでも見ていたくなります。初夏には断崖が積丹の町花・エゾカンゾウで彩られます。



#### ○黄金岬・宝島

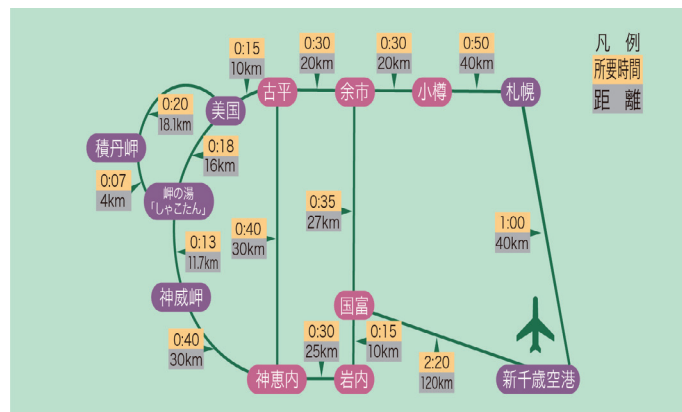
美国（びくに）地区の観光スポットである黄金岬は、美国港の先から海へ突き出しており、約410mの遊歩道が整備され、3カ所の入り口から展望台を目



宝島の近くに浮かぶ小さな島であるゴメ島は、翼を休めるカモメのように見えることから、カモメを意味する方言「ゴメ」と呼ばれ、こちらも宝島と並ぶ観光スポットとなっています。

## 積丹町へのアクセス

<https://www.kanko-shakotan.jp/access/>



●お問い合わせ  
○積丹町役場 〒046-0292 北海道積丹郡積丹町大字美国町字船淵 48 番地 5  
TEL: 0135-44-2114 FAX: 0135-44-2125

E-mail: [kikaku@town.shakotan.jp](mailto:kikaku@town.shakotan.jp)  
公式ホームページ: <https://www.town.shakotan.lg.jp>



## 市町村から

○インブレイク

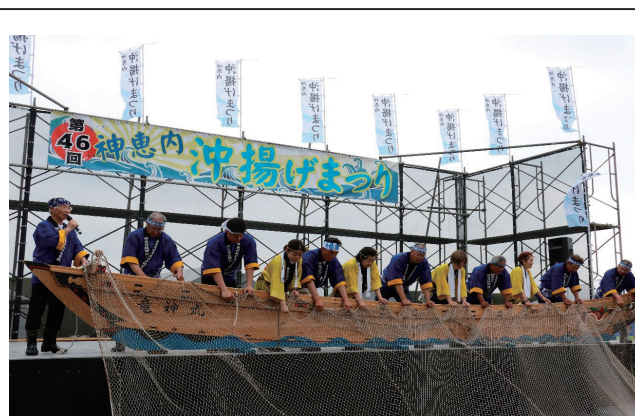
毎年恒例の夏のお祭り「第47回かもえない沖揚げまつり」が2025年7月6日(日)に開催されまし

沖揚げまつりでは、国の重要無形民俗文化財に登録されている松前神楽、小学生によるソーラン舞、沖揚げ音頭のほか、北海道を中心に活動してい

すめはウニ丼です。限定600食を販売しましたが、販売前から行列ができるほどの人気でした。

○グルメ

獲れたての新鮮な魚を使ったお寿司や生ちらしが絶品の「勝栄鮨」。ウニ漁が始まるとお店の前には長蛇の列ができ、後志管内や道内だけでなく道外からのお客さんも非常に多い人気店です。



スティーシ  
フオーマン  
スが行われ  
ました。  
また、ラ  
イブだけで  
なくおいし  
いグルメも  
たくさん販  
売してい  
ます。おす



北海道産の小豆を使った自家製あんこのお菓子が人気の「稲葉屋」。求肥入りの最中は夏にホタテ、冬は鮭に姿が変わります。他に

○宿泊施設

地元で獲れた食材を提供し、海に沈む夕日と神恵内村を一望することができる「民宿きのえ荘」が、人気の宿泊施設です。



E-mail : [kikaku-3@vill.kamoenai.lg.jp](mailto:kikaku-3@vill.kamoenai.lg.jp)

公式ホームページ：<https://www.vill.kamoenai.hokkaido.jp/>

## 移住について

○空き家空き店舗改修補助金制度

神恵内村内に移住定住する意思があり、空き家等を賃借又は購入し、空き家等が所在する町内会等に加わり、地域住民と交流を図れ

る方や、地域に根付き地域活性化に貢献できる事業を始めようとしている方のために、空き家等の改修工事に要する経費4分の3の額（上限300万円）を補助します。

○奨学金等返還補助金制度  
神恵内村に住所を有し、就学を目的として貸与を受けた奨学金等の返還を行っている方、または、申請年度に返還を開始される方に対し、最長で10年間、月額相当額の2分の1の額（上限2万円）を補助しております。

ふるさと納税

神恵内村では、7000円からふるさと納税を受け付けており、返礼品は以下のとおりです。



美味しそうな  
稲葉屋の和菓子

・ 7000 円

サクラマスの加工品の詰め合わせセットをお届けします。

・1万3千円  
甘漬けウニ2本セットを  
お届けします。  
※在庫がなくなり次第受付  
を終了します。

・  
10  
万  
円

・1万円



サクラマス加工品  
詰め合わせセット

• 18 万 円

・1万円  
勝栄館の特上握り1人前  
お食事券、民宿きのえ荘の  
お食事刺身盛り合わせ券、  
稲葉屋の3千円分の和菓子  
引換券をお届けします。

「食べるJAPAN『美味アワード』2021」において特別賞を受賞した北海道産岩宇なまこ「宮比(みひ)やひ」特級120gをお届けします。



↑  
各制度の詳細  
はこちらから

この事業は国庫・地域福祉事業文庫金に活用しています。

奨学金の返還にお困りの方へ  
**奨学金の返還を  
村が補助します!**

**対象者**

- ・大学、大学院、高校など(※1)に進学し、在学中に奨学金等(※2)の貸与を受けた方
- ・神恵内村に住所を有する方
- ・奨学金等を返還中の方、今年度から返還を開始する方

奨学金返還額のうち  
**補助額** 2分の1 年額最大 **24万円**  
(月額最大 2万円)

●補助金の交付には上記以外にも条件が添りますので、詳細は所管までお問い合わせ下さい。

F 0 4 5 - 0 3 0 1 北海道古宇郡神恵内村大字神恵内村 8 1 番地 2 0  
5 - 7 6 - 5 0 1 1 F A X : 0 1 3 5 - 7 6 - 5 5 4 4



# かもえない 神恵内村のご紹介

## 「海に近いまち神恵内村」

### 観光スポット

○かもえない竜神温泉

2025年4月26日に  
グランドオープンしま  
した。2020年にリ  
フレッシュプラザ温泉  
998が閉館してから約  
5年ぶりに神恵内村に温  
泉が開業しました。

竜神温泉は青少年旅行  
村で2007年まで営業  
していた温泉竜神荘の源  
泉を再利用しています。  
泉質は当時と変わらず、  
弱アルカリ性で肌に優し  
く、様々な健康効果やア  
トピー性皮膚炎、乾燥な  
どへの美肌効果があり、  
通称「美肌の湯」とも呼  
ばれていました。

竜神温泉に露天風呂は  
ありませんが、大きな窓  
越しに日本海を眺めなが

完備していますので、海を  
眺めながらゆっくりとくつ  
ろぐことができます。



・12月～3月  
12:00～20:00  
※最終入館は19:30

【定休日】

毎週月曜日

※月曜日が祝日の場合は  
火曜日定休日

【料金】

・入館料  
大人（中学生以上） 700円

小人（小学生） 300円  
未就学児 無料

※回数券  
大人14回分 7000円  
小人14回分 3000円

○神恵内青少年旅行村

北海道で初めて青少年  
旅行村として指定を受  
け、手つかずの自然の  
中、童心に戻って遊ぶ  
ことの出来る空間を目指  
し、昭和47年に観光の  
キーステーションとして  
開設されました。日本海



【予約受付開始】4月中旬  
【開村期間】5月初旬～9  
月中旬



イ」が由来になつていま  
す。ここでは、神恵内で獲  
れた新鮮な魚介類を中心と  
した水産加工品の販売を  
行っているほか、神恵内沖  
で水揚げされたホッケを  
使ったホッケバーガーや村  
唯一のパン屋さんが作って  
いるパンやラスクを販売し  
ています。また、夏季には  
活ホタテや牡蠣を水槽から  
網で獲ってそのまま購入で  
き、その新鮮さと美味しさ  
から大好評です。他にも、  
神恵内の名産品である甘漬  
けうにも購入できます。

ら温泉に浸かることがで  
き、露天風呂気分を味わ  
うことができます。晴  
れている日であれば、美  
しい夕焼けも堪能できま  
す。

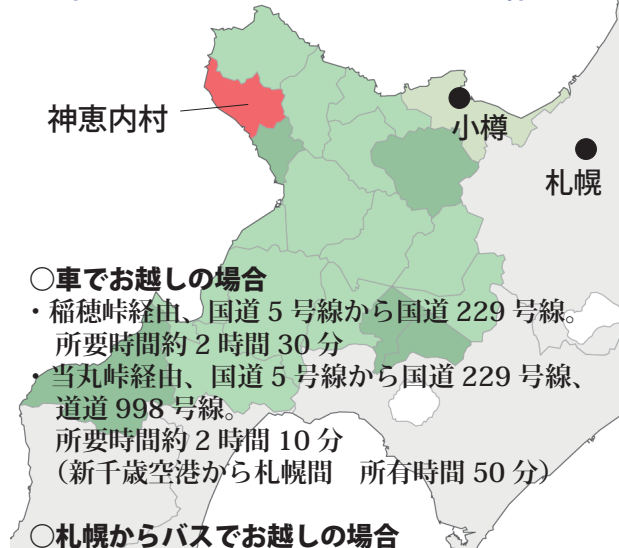


売店ではソフトクリーム  
を販売しており、湯上がり  
の方に大人気です。その他  
に、道の駅で大人気のホッ  
ケの開き、宗八カレイなど  
神恵内沖で水揚げされた魚  
（冷凍）や鮭フレーク、サ  
クラマスカレーといった加  
工品、竜神温泉でしか買え  
ない限定グッズを販売して  
おりますので、お帰りの際  
に商品をご覧になつて  
ください。



## 神恵内村へのアクセス

神恵内村ホームページ  
<https://www.vill.kamoenai.hokkaido.jp>



### ○車でお越しの場合

・稲穂峠経由、国道5号線から国道229号線。  
所要時間約2時間30分  
・当丸峠経由、国道5号線から国道229号線、  
道道998号線。  
所要時間約2時間10分  
（新千歳空港から札幌間 所要時間50分）

### ○札幌からバスでお越しの場合

・札幌一岩内間（中央バス）  
所要時間約2時間45分  
岩内一神恵内間（地域公共交通バス しおかぜ  
ライン）所要時間約50分

を見下ろす16万㎡の広大  
な敷地内には、ロッジ、  
コテージ、バンガローな  
どのキャンプ施設が充実  
しており、日本海に沈む  
感動の夕日や手でつかめ  
そうなくらいの満天の星  
空など、最近流行のキャ

他にも、日本海に面した  
国道229号沿いに位置す  
る道の駅「オスコイ」かも  
えない」があります。  
この「オスコイ」とは、  
かつてニシン漁で栄えた神  
恵内村の漁師たちが權を漕  
ぐ際のかけ声「オスコイ

また、道の駅で販売して  
いるソフトクリームは月替  
わりで味が変わるため、訪  
れる度に違った味を楽しむ  
ことができます。

【営業時間】

9:00～17:00

# かもえない 神恵内村のご紹介

・4月～10月  
11:00～20:00

【営業時間】



# いわない 岩内町のご紹介

## 市町村から

○大迫力の喧嘩神興「岩内神社例大祭」



がぶつかり合う「喧嘩」も見逃せません。

### ○たつかま

岩内町の郷土料理「たつかま」はスケトウダラの白子から造られるカマボコです。岩内町では古くからスケトウダラ漁が盛んでしたが、白子・タチは傷みが早いので廃棄されていました。しかし、捨てるのはもったいないということで家庭での保存を目的に加工が試みられたのが、「たつかま」の始まりです。鮮度が良くないとカマボコが固まるので、2基の神興



らないため、使われるタチは獲れてから12時間以内のもの。そのため、流通に乗らない幻の逸品です。そのままスライスしてわさび醤油がお勧めです。

### ○クラフトビール



岩内町は、野生のホップが日本で初めて発見された地です。発見から150周年を迎えた2021年に岩内町でホップの試験栽培が始まり、翌年の2022年からクラフトビールの醸造を開始しました。厳選した麦芽や、収穫して24時間以内に仕込んだフレッシュホップの他、岩内町で汲み

上げられる海洋深層水を使用するなど素材にこだわり醸造を行っています。

### ◇町の計画

#### ○岩内町ゼロカーボンビジョン

岩内町の2050年ゼロカーボン達成を目指し、「人と自然にやさしい安心して暮らせる持続可能なゼロカーボンシティの実現」を基本方針に掲げ、策定しました。脱炭素化と地域課題解決の両立を図る取組を推進することによって、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける持続可能なまちづくりを目指しています。

#### ○岩内町立地適正化計画

人口減少・少子高齢化の進展等の課題を踏まえ、コンパクトなまちづくりに向けた方針を定めています。【基本方針】

- ①外出機会を創出する健やかウォーカブル・ネットワークづくり
- ②教育・学習環境を核としたコンパクトな居住環境づくり
- ③まちの顔の創出とにぎわいあふれるまちなかつくり

#### ○岩内町産業振興プラン

近郊の交通インフラ整備やリゾート開発が進んでいる中、魅力ある町として維

## 移住等について

### ○新築・中古住宅取得補助事業

子育て環境の充実を図る本町では、2026年に施設一型義務教育学校「岩内中央学園」を開校予定です。近隣地域では高速道路、北海道新幹線の延伸も予定され、札幌方面や本州へのアクセス向上が期待されています。また、コンパクトな市街地の中にスーパー、学校、バスターミナルなどが揃っているため車がなくても生活しやすく、気候も北海道内では比較的温暖で、降雪量もそこまで多くありません。市街地の南側には温泉やスキー場、キャンプ場があり、北側は、岩内港に面し海水浴場もありアクティビティも豊富です。

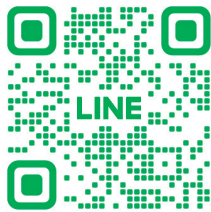
新築…基本額50万円  
中古…上限25万円  
※世帯構成により加算有り

### ○奨学金返還支援制度

若者の町内企業への就職と町内定着を促進するため、新たに町内事業所等に就業し、かつ町内に居住する若者の奨学金返還に対する、最長10年間、最大18万円/年の助成を行っています。移住されてきた方も要件を満たせば助成の対象となります。

### ○移住者お話し会

岩内町や近隣町村に移住された方が集まる交流会を毎月開催しています。移住を検討している方を含め、どなたでも参加可能です。日程の連絡と参加受付は、移住者向け公式LINEやインスタグラム(@iwanai)で行っています。



## 子育て・納税

○寄附金を通じて岩内町を応援して頂ける皆様へ、岩内が誇る海産物・海洋深層水を利用した化粧水・農作物・乳製品・手作り品・宿泊券などをお礼の品として、心を込めてお送りいたします。岩内出身の方、岩内が好きの方、岩内を応援したい方、多くの皆様からのエールを心からお待ちしています。

### ○寄附金の使いみち

皆さまから頂戴いたしました寄附金は岩内町の活性化のため、次の活動テーマに沿って大切に使用させていただきます。

- ・「笑顔・魅力」魅力ある故郷の情報を発信し、地域間交流の促進活動
- ・「家庭・生活」保育所や学童保育など働く家庭の支援活動
- ・「安全・安心」高齢者と共に安全・安心に暮らすための活動
- ・「教育・歴史」子供たちを地域で育むための活動(担当…観光経済課)



# 「自然、憩うまち岩内町」 観光スポット

○道の駅「いわない」  
ヨットをイメージした外観が目印。ガイドセンターとしても機能し、海産物の加工品をはじめ、地元で人気の地酒やスイーツなど、まちの特産品や土産品が揃っています。



○「いわない温泉」  
積丹半島を一望する岩内岳山麓に位置する「いわない温泉」。半径約500m以内の狭いエリアに、海水起源の「温まりの湯」と天水由来の「美肌の湯」とい



○IWANAI RESORT  
ニセコ連峰の最西端、標高1,086mの岩内岳に位置するスキー場では、パウダースノーを満喫で

う異なる泉質を持つ2つの温泉があり、どちらもミネラル分が豊富な高温泉の源泉掛け流しです。近年は国民参加型の地方活性化プロジェクト「温泉総選挙2024」において、「美肌の湯」部門の北海道第1位に選ばれるなど、国内においても知名度が高くなりつつあります。



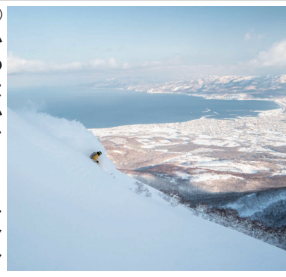
○含翠園  
初代岩内町長の梅澤市太郎氏が、明治37年から大正3年まで10年以上の歳月と当時25万円（現在価値約9億5,000万円）という巨額の個人資産を投じて造園したもので、優れた庭師であった小林氏が100人近い若者を使って造園したといわれています。

○荒井記念美術館  
眼下に岩内を一望できる絶好のロケーションにある美術館。平成元年に事業家荒井利三氏が開館。世界に約2,000点あるピカソの版画のうち267点を所蔵・常設しており、小ホールでの演奏会や講演会など、他、特別展も開催しています。



○帰厚院大仏像  
東京以北最大の木造大仏像がある岩内町最古の寺院「帰厚院」。大正10年に完成した高さ6.8m木造総金箔塗りの大仏のスケールには、とにかく圧倒されます。岩内町有形文化財第1号に指定されています。

きるキャットツアーが人気。山頂付近から見下ろす日本海と積丹半島の大パノラマは絶景で、そこに滑り降りていくような感覚は格別です。



○いわないオートキャンプ場  
岩内港や積丹半島が一望できる高台にある「オートキャンプ場マリビュウ」。



## 文化と歴史

文学・美術と文化的な施設が充実しているのも岩内町の魅力のひとつ。近代的な美術館には、個性がほとばしる絵画が多数展示されています。また、古くから

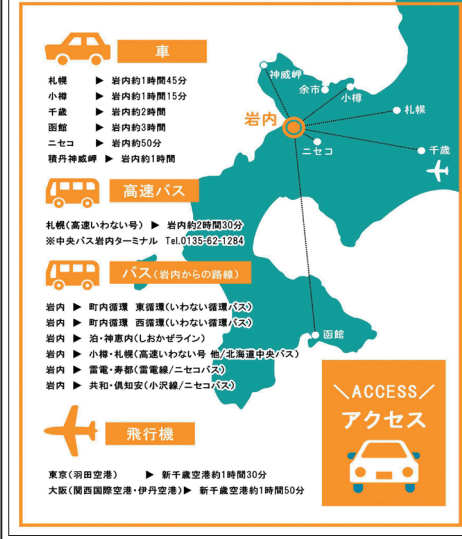
○木田金次郎美術館  
岩内が生んだ孤高の画家、木田金次郎。彼は岩内の網元の家の次男として生まれ、生涯岩内を離れることなく、この地の自然を描き続けました。有島武郎の弟子で、小説「生まれ出づる悩み」のモデルとしても知られています。そんな木田金次郎の作品や人生、そ



○岩内町郷土館  
開基250余年の岩内町の歴史文化を伝える貴重な品が数多く展示されてお



## 岩内町へのアクセス





## ふるぶら 古平町のご紹介

### 市町村から

#### ○グルメ情報

古平町は古くから、ニシン漁で栄えた漁業のまちでもあります。そのため、お寿司や海鮮丼など新鮮な魚介類を提供する飲食店が多くあり、ミシュランガイド



「ビブグルマン」に選ばれた名店もあります。特に、6月から8月はウニの漁期であることから、ウニ丼を目当てにお客様が大勢いらつしやいます。

#### ○イベント情報

7月と9月に開催される神社例大祭では、天狗の面をかぶった「猿田彦」がみこし渡御行列を先導し、町内を練り歩きます。特に、約3mの火柱が上がる「猿田彦の火渡り神事」が見どころで、毎年多くの観光客が訪れます。

また、東しゃこたん漁業協同組合主催の「漁協祭」でも、地元で水揚げされた新鮮な魚介類を求めて、多くの観光客で賑わいます。



神社例大祭の様子  
「猿田彦の火渡り神事」



漁協祭の様子



### 移住について

#### ○新規漁業就業者支援事業補助金

古平町では、漁業者の定着を促し、新たな漁業従事者の確保を図ることを目的に新規漁業就業者に対し、次の支援を行っています。

- ・新規漁業就業者の漁業研修に要する生活資金の助成（月額5万円、扶養親族含上限10万円、最大36ヶ月）
- ・新規漁業就業者が町内居住するための月額家賃のうち、1万円を超えた額を1/2以内で補助
- （上限月額2.5万円、最大36ヶ月）

- ・新規漁業就業者が漁船・漁具等を購入、漁船倉庫の増改築等に要する費用を1/2以内で補助
- （上限300万円、複数回申請可）

- ・新規漁業就業者の小型船舶免許、海上特殊無線技師の取得に要する費用を1/2以内で補助
- （上限20万円、複数回申請可）

#### ○古平町創業等支援事業補助金

古平町では、町内における創業等を促し、商工業の活性化を図ることを目的に、次の支援を行っています。

- ・新規創業や業種の転換及び業種の追加をする個人及び小規模企業者に対し、補助対象経費（消費税及び地方消費税を除く）の1/2以内で補助
- （新規創業：最大200万円、業種転換・追加：最大100万円）



### ふるさと納税

ふるさと納税の返礼品でも「たらこ」は人気が高く、様々な容量、味付けの商品を揃えています。

- ・5000円  
一口たらこ・明太子セツト（各200g）  
スモークたらこ（200g×2）
- ・12000円  
たらこ1kg
- または、辛子明太子1kg
- ・13000円  
家庭用たらこ一本物1.5kg
- ・14000円  
塩たらこ並切2kg
- ・15000円  
醤油味たらこ一本物1.5kg
- または、辛子明太子一本物1.5kg





# 「たらこのまち 古平町」 観光スポット

○道の駅ふるむらたらこミュージアム



は、オリジナル商品を始め、たらこに関する商品を多数取り揃えています。

道の駅ふるむらたらこミュージアムは2025年4月15日にオープンした施設で、古平町を代表する特産品である「たらこ」の知名度を上げるべく、道の駅のイメージを越えて、たらこに特化した施設となっています。施設内は、たらこの歴史



たらこ食べ比べセット



たらこ缶

飲食コーナーでは、たらこ定食や、たらこをせた斬新な塩ラーメン、たら

らつぽーなど、たらこのメニューが充実しており、たらこの魅力を存分に味わうことができます。さらに、敷地内には大型遊具を設置したふるむら150年広場を併設し、子ども連れのお客様も楽しむことができる施設となっています。



150年広場

○日本海ふるむら温泉しおかぜ

日本海ふるむら温泉しおかぜは積丹ブルーの日本海を望む源泉掛け流しの天然



となっています。この褐色のお湯は濃度が高く、タオルや手ぬぐいをつけてしまふと一瞬で茶色く染まってしまう。



○セタカムイ岩  
セタカムイ岩は、アイヌ語で「天の神」という意味があり、その昔、漁から帰ってこなかった主人を、悲しさのあまり鳴きながら待ち続けた犬が、岩になったという伝説が残されている奇岩です。



たらこ定食



たらこ塩ラーメン



たらつぽ

このディップで味わうタラのフライ×ポテト「た

温泉です。泉質は、ナトリウム塩化物温泉で褐色の湯

## 古平村へのアクセス

古平村ホームページ  
<https://www.town.furubira.lg.jp/>



←詳細はこちらから



- 車でお越しの場合  
札幌市から約75km(約1時間20分)  
新千歳空港から約115km(約2時間30分)
- 電車でお越しの場合  
JR余市駅で下車、バスに乗り換えて約30分
- バスでお越しの場合  
JR小樽駅から約60分



## 赤井川村のご紹介

## 市町村から

赤井川村は北海道の南西部に位置し、札幌市、小樽市、京極町、倶知安町、仁木町、余市町の2市4町に隣接しています。

人口は1,152人（令和6年7月1日現在）、総面積は280.09㎦で、四方を山に囲まれており、カルデラ状の地形を形成しています。秋のよく晴れた朝には盆地に霧がたまり、雲海が見られることがあります。気象条件は盆地特有の内陸型気候で、夏は30度前後まで気温が上がる一方、冬はマイナス20度を下回ることもあります。また、冬の積雪は多く、北海道内で有数の豪雪地帯となっています。

現在「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。美しい村連合の地域資源として、赤井川村を囲む「カルデラ盆地」と、たくましい開拓精神と限りない創造力を太鼓の音とリズムに託し、協調と団結、友愛と信頼をテーマに若人の心意気を表現した「赤井川村カルデラ太鼓」が登録されています。また、令和5年にゼロカーボンシティ宣言をしております。再生エネルギーや省エネルギーを活用した取組を進めています。

## ○産業

主産業は、農業と観光業です。農産物の品目は多岐にわたり、北海道で栽培できる農産物は何でも育つといわれています。作付面積が多い品目は米、路地野菜では南瓜、アスパラ、馬鈴



薯、施設野菜では、ミニトマト、パプリカとなつています。

観光では、村内にキロロリゾートがあり、ウィンタースポーツ愛好者だけでなく、インバウンドも多数訪れます。また、グリーンシーズンはパラグライダーやカヌーなどのアウトドアスポーツ

のフィールドとしても活用されています。

○イベント

まるつとカルデラ農村フェス

赤井川村が誇るカルデラ地形と豊かな農の恵を、「まるつと」楽しむ2日間のイベントです。地元の新鮮な農産物が詰まったお得なフェス名物「村箱」をはじめ、食べて美味しい農フェス食堂など、赤井川村ならではの魅力が満載です。

子どもから大人まで、札幌から最も近い「農村」の祭典で、非日常の中で心も体もリフレッシュしながら、赤井川村の魅力を「まるつと」味わえる、特別な2日間をお過ごしください。

・開催日 令和7年9月13日（土）、9月14日（日）



・入場料 無料（一部有料体験あり）  
・主な催し  
農村フェス花火大会（2日間）  
ステージイベント（農村BINGO、パンプキンタワー選手権等）  
参加型イベント（あかりんピック）  
産直販売（数量限定村箱販売等）  
農フェス食堂、農村フェスタ暮れ市

## 移住等サポート

## ○移住について

平成28年4月1日から村の定住人口増加と地域活性化を目的に「移住・定住支援事業」を始め、村に10年以上居住する方へ300万円の住宅建設資金を支援しています。

## 支援内容…

ア 専用住宅 300万円  
イ 併用住宅 300万円  
ウ 共同住宅 1棟6戸以上の住宅に対し、1戸当たり300万円  
※詳細は村のHPをご参照下さい。

## ○その他の支援

中学生海外研修（オーストラリアで語学研修）授業料無料化や小・中学生の給食費無償化、中学校卒業までの医療費無料化、小・中学生のキロロスキー場の

シーズン券無料化などを行つています。

## ○企業誘致

赤井川村山村活性化支援センター 村ノ燈（むらのあかり）について

首都圏や都市部の若者が赤井川村で新たなビジネスにチャレンジできる環境を整えるため、起業・事業創出支援に取り組みしており、村内の公共施設である山村活性化支援センターを改修し、レンタルオフィスとコワーキングスペース機能を持つ事業拠点として「村ノ燈（むらのあかり）」を令和6年に開設しました。

札幌から最も近い小さな村、大自然に囲まれたこの環境で、旬の味覚を採って食する収穫体験やパウダーシノーを楽しむワーケーションなど、村の資源を活かした新事業に利用しても

らえるよう民間企業による活用も期待しています。

## 【コワーキングスペース】

営業時間…9時～18時  
席数…20席  
・ワンタイム利用（事前予約で1日単位）  
4時間未満 550円  
1日利用 1100円  
・月額利用（予約なしで月単位）  
個人利用10,000円  
法人利用20,000円  
【レンタルオフィス】  
部屋面積により月額2万円～6万円  
※ご利用料金はすべて税込

## 【お問合せ】

オフィス&コワーキング  
村ノ燈（むらのあかり）  
北海道余市郡赤井川村字常盤443-1  
hell@mura-no-akari.com  
【WEB】https://mura-no-akari.com/

## ふるさと納税

○持続可能な公共交通「むらバス」へ公共交通で村の未来をつなぐ

赤井川村には、公共交通機関がありません。村唯一のバス路線の存廃協議の申入れを契機に、村役場が注中心となり、村内の輸送資源をフル活用し、地域の多様な意見を取り入れ、自らがデザインした持続可能な公共交通「むらバス」。その誕生には、クラウドファンディングで、皆様からのご寄附という応援をいただき、利用されるバス運行によって、暮らしやすさが向上しています。

昨年12月からは「大型バス」運行も導入実験し、今よりもさらに村民の暮らしやすき向上に視点を置きながら、「むらバス」は皆様からの応援を受けて走り続けます。

この取組は、ふるさとチョイスAWARD2023「未来につながるまちづくり部門」大賞や令和5年度地域公共交通優良団体として国土交通大臣表彰を受賞しました。



## 赤井川村のご紹介

## 「カルデラの里 赤井川」

## 観光スポット

## ○冷水峠展望台

村道冷水峠線にあるこの展望所は、標高約340mの場所にあり、平成16年の台風18号によりなぎ倒された木に遮られて見えなかった赤井川市街地が、峠から一望できるようになりました。

赤井川村は二重のカルデラ地形となっており、内側には直径6〜7kmほどの赤井川カルデラ、外側には余市川に沿ったカルデラがあります。展望所からは赤井川カルデラを一望でき、赤井川市街地が山に囲まれたカルデラ内にあることを実感することが出来ます。

晴れた日には、別名「蝦夷富士」と言われる羊蹄

## ○道の駅あかいがわ

道の駅あかいがわは、赤井川村開村115年の年に北海道内115番目の道の駅として平成26年に開業しました。



元々は、明治時代から昭和初期にかけて官設の駅通所が置かれていた場所であり、札幌圏と倶知安・ニセコエリアの中間に位置するため、多くのお客さんで賑わっています。

るドッグランも設置されており、様々な方に楽しんでいただける場所となっています。

## 【営業時間】

道の駅 8時30分〜18時  
(5月〜10月)

9時〜17時  
(11月〜4月)

9時〜17時  
(11月〜4月)

直売所 9時〜17時  
(5月〜10月)

※商品状況により17時前に閉店することがあります。

食堂 11時〜15時  
(5月〜10月)

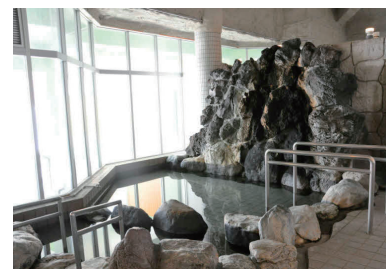
11時〜14時30分  
(11月〜4月)

休館日…第3水曜日 (5月〜10月)

第1、第3水曜日 (11月〜4月)

## ○赤井川カルデラ温泉

源泉かけ流しの温泉を楽しむことができる日帰り温泉施設です。泉質はナトリ



風と洋風の内風呂とサウナを増設しました。週替わりで男湯と女湯を入れ替えるため、どちらのお風呂も楽しむことができます。

食堂では、豚丼やソフトクリームなどを食べることもでき、売店では時期によりアスパラや南瓜、白菜などの地元の農産物を販売しています。

【営業時間】10時〜21時(最終入館時間20時30分)

休館日…毎週月曜日(祝日が月曜日の場合、翌火曜日)

## ○キロロリゾート

キロロリゾートは世界屈指のパウダースノーを誇っています。最近では、ニセコエリアに長期滞在する海外のスキーヤー達もキロロを訪れるようになっています。全21コースで、最長4,000m以上のコースもあり、11月〜5月までの滑走が可能となっています。

夏には、ユーロバンジー トランポリンやユーロバブルをはじめとしたアクティビティが用意されており、

山(ようにいざん)を望むことができ、秋の早朝にはカルデラ盆地を覆う雲海広がっていることもあります。夜は周辺に街灯などのあかりが無いため、迫力満点な星空を眺めることができます。

道の駅では、地元の食材を使用した焼きたてのパンや旬の農産物を活かしたジェラートを味わえます。



ウムーカルシウム塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉で、肌がきれいになるとして地元の方も多く利用しています。

平成26年にリニューアルを行い、当初からあった内風呂と露天風呂に加え、和

1年中楽しむことができます。また、キロロリゾートは、北海道百名山の余市岳(1,488m)の登山口にもなっており、頂上からは石狩湾、積丹半島、ニセコ連邦などを望むことができます。

## 赤井川村のご紹介



また、農産物直売所もあり、全国的に珍しいカルデラ盆地の地形から育まれた野菜や余市川の清流で育ったお米など、旬の農産物を購入できます。その他にアローラロコン、ミプリム、バナナ、イチゴが描かれたポケモンマンホールや、わんちゃんたちが安心して自由に遊ぶことができ、遊んだ後に汚れた足を洗うことができ

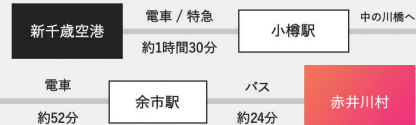
## 赤井川村へのアクセス

URL: <https://www.akaigawa.com/profile/index2.html> (村)

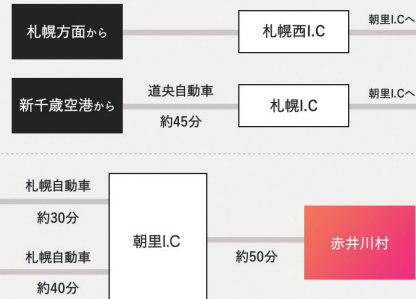
<https://visit-akaigawa.com/> (DMO)



公共交通機関(飛行機・バス)を利用する場合



お車を利用する場合





# 黒松内町のご紹介

## 市町村から

### ○イベント情報

毎年7月下旬に開催される「牛つとービーフ天国」は、黒松内町産黒毛和牛やアユをはじめとする町内のグルメや、キッチンカーが多数出展するイベントです。黒松内町の自然や文化が盛り込まれた「黒松内音頭」に合わせて行われるパレードは、150人を超える踊り子が町内を練り歩き、沿道には多くの観客が



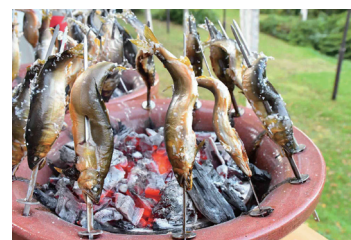
集まり、イベントの最後は花火が夜空を彩ります。黒松内の食・文化を存分に楽しめるビーフ天国で、黒松内の夏を満喫しませんか。



### ○黒松内町の「食」

#### ・朱太川の天然アユ

ブナ林の恩恵とも言える町内全域が河川流域の「朱太川」では、希少価値が高い天然のアユが生息する道内屈指の清流です。全国の河川では稚アユの放流が一般的に行われていますが、朱太川漁協組合では遺伝子がかく乱することを防止す



その食味や香り高さは町内外の方に高く評価され、



平成28年には高知県で開かれる「利き鮎会」で全国56河川の中からグランプリにも選ばれています。黒松内町観光協会ではアユの友釣り体験ができますので、是非御利用ください。  
黒松内町観光協会  
☎0136・72・3597  
・幻の「奈川在来種蕎麦」  
北海道では黒松内町でしか栽培されていない長野原産の在来種「奈川蕎麦」は、豊かな甘みと香りが特



徴で、長野でも少量しか作られていないため、幻の品種と呼ばれています。黒松内町の立地や気候が奈川村に似ているだけでなく、ホタテの貝殻などを使った土壌改良を行い、大切に育てられた蕎麦です。町内でも奈川在来種蕎麦を使用した蕎麦を提供しているお店があり、このそばを目当てにお客様が大勢いらっしゃいます。

## 移住について

### ○お試し移住体験ハウス

黒松内町への移住、二地域居住、シーズステイを希望される方に、一定期間生活体験ができる場を提供するため、黒松内市街地にお試し移住体験ハウスを御用意しています。



家具家電付きで安心の設備で市街地や歌才ブナ林からも近いお試しハウスを拠点に、黒松内町での着の身着のままの暮らしを体験してみませんか？

○定住を希望する方へのサポート  
町では、移住・定住を促進するため、若者向けの住宅家賃支援・奨学金支援、中古住宅の取得や、住宅の新築に際しての経済的負担を軽減する施策を行っています。

・若者定住促進生活応援  
満40歳未満で賃貸住宅に入居している単身者（公務員を除く）に対し、家賃から住宅手当を控除して2万円を超える金額を、町内の商店で使えるブナカポイントで助成します。  
限度額：満30歳未満 月額1万円まで、満30歳以上40歳未満 月額5千円まで  
・自家住宅取得奨励金  
町内業者施工による自家住宅のリフォーム費用を一部助成します。  
限度額：10分の1以内上限20万円（同居する18歳までの子供がいる世帯は上限30万円）

## ふるさと納税

ふるさと納税の返礼品では、黒松内町特産物手作り加工センター「トワ・ヴェール」で作られるチーズ・ハム・ベーコン・アイスクリームが大人気です。

### ・チーズ

クリームチーズやカマンベールチーズ、ブルーチーズ、ゴダーチーズなど、黒松内町産の品質の安定している搾りたて生乳を贅沢に使用した逸品が揃っています。

### ・ハム、ベーコン

北海道産の良質な豚バラ肉を使用し、昔ながらの塩と香辛料を手で擦り込む乾塩法により時間をかけてゆっくり熟成させて作っています。

### ・アイスクリーム

黒松内町の酪農家さんが



ふるさと納税返礼品の一例



# 黒松内町のご紹介

## 「ブナ北限の里 黒松内町」 観光スポット

○国の天然記念物「歌オ  
ブナ林」



黒松内町のシンボル「歌オブナ林」は、学術的な価値の高さから昭和3年に国の天然記念物に指定されました。ブナがもたらす恩恵は計り知れず、「緑のダム」と呼ばれるほどの高い保水力は、大地を潤し地域にその恵みを還元していま

を備えたバンガローやオートサイトなどを配置し、スタートが24時間常駐しています。売店もあるので安心・快適にキャンプが楽しめます。

また、近くには町の自然や歴史を紹介している「ブナセンター」があり、ブナ林のガイドのほか、木工、陶芸など工房での体験活動もできます。他にもキャンプ場から150m程歩いたところにある「ブナの小道」は、全道230m程の手軽な散歩道で、定樹齢



中でも人気なのが黒松内の食材をふんだんに使い、道の駅で一つ一つ手作りで焼き上げられるパンとピザです。



るパンはどれも絶品です。ピザには黒松内産のフレッシュなモッツアレラチーズやソーセージをたっぷりと乗せ、生地には全粒粉を使い、天然酵母で発酵熟成させてもちりとした食感のドイツパン風に仕上げられています。種類は、常時9種類、サイズはS・Mを用意。注文を受けてからその場で焼き上げるピザは、酪農・畜産の田舎ならではの自慢の逸品です。

他にも、黒松内の様々な特産品も販売しています。

●道の駅くるまつない  
営業時間(4月から9月まで) 9:00～18:00(10月から3月まで) 9:00～17:00

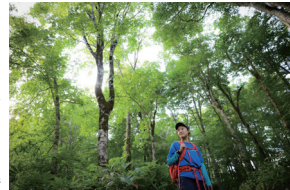


イ料理店で総料理長を勤めてきた方で、ガパオライスやグリーンカレーなど本格的なタイ料理も楽しめます。



E-mail: [kikaku@town.kuromatsunai.hokkaido.jp](mailto:kikaku@town.kuromatsunai.hokkaido.jp)  
公式ホームページ: <http://www.kuromatsunai.com/>

す。また春夏秋冬、それぞれの季節に見せる美しい表情は、訪れる人々の心を癒し、魅了し続けています。高さ30m、幹の太さが直径1mを超え200歳にもなるブナたちが織り成す圧倒的な大自然を存分に体感してみてください。



080歳以上のブナの木が、お出迎えしてくれます。是非足運んでみてください。

おいで育った鶏の「有精卵」と純粋な黒松内の素材を原料として、乳化剤、保存料、着色料、香料は一切使わないのが特徴です。種類も多く、焼き立ての小麦香

○Kumagera Kitchen 横里花(キラカ)  
2025年3月グランド  
0136-75-7030

○歌オオートキャンプ場  
(PICル・ピック)

白樺に囲まれた緑あふれる敷地には、それぞれに水道や焚き火スペース

2025年シーズン営業期間 10/13(月・祝)

○道の駅くるまつない

道の駅くるまつない(トワ・ヴェールドゥー)は国道5号沿いにあり、ドライブ中のやすらぎの場所、黒松内観光の情報収集の場所として賑わっています。

### 黒松内町へのアクセス

黒松内町ホームページ

<http://www.kuromatsunai.com/kanko/access>



●お問い合わせ  
○黒松内町役場 〒048-0192 北海道寿都郡黒松内町字黒松内302番地1  
TEL: 0136-72-3376 FAX: 0136-72-3316



## 市町村から



### ○イベント情報 ・共和町かかし祭

かかしをモチーフにしたユニークなイベント「共和かかし祭」は毎年8月に開催され、歌謡ショー、ばん馬競技など、趣向を凝らしたアトラクションが繰り広げられます。

メインイベントは、家族や仲間と手づくりして出来映えを競うかかしコンク



ルです。コンクールに出品されたかかしは、お祭り期間中会場内に展示され、個性的なかかしがズラリと並びます。

スイカやメロンの即売会も行われ、町民のみならず多くの来場者で賑わいます。



### ○共和町の特産品 ・ナチュラルチーズ

チーズの本場フランスで修行を積んだ職人がつくる絶品のチーズです。北海道外からも高い人気を得ています。

### ・三田アイス

共和町内にある三田牧場で作られている、しぼりたての生乳と厳選された素材で仕上げられた贅沢な味わいのアイスです。

### ・とものぼしヨッポ

令和9年度の道の駅オーブンに向けて設立された株式会社とものぼが運営するショップです。  
そこで販売されているらいでんメロン・らいでんスイカの果汁を使用したサイダーのほか、共和町産ななつぼしを使用したグルテン



(らいでんメロン)



(らいでんスイカ)

フリーの米粉スイーツは絶品です。

## 移住等イベント

### ○奨学金返還支援事業

共和町では、若者の町内中小企業への就職と町内定住を促進するため、新たに町内事業所等に就業し、かつ町内に居住する若者の高等教育にかかる奨学金の返還に対する助成を実施しています。

年度内の奨学金返還額を最長10年間助成します。(上限額は150000円×助成対象月数(年最大18万円)(※繰上返還による奨学金返還額は除きます。)

UターンやIターンの方、自営業の方や農業後継者で親元就農する方も要件を満たせば対象になります。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

### ○子育て支援情報

共和町には、保育所と幼稚園の機能を統合した「中央幼児センター」と「はまなす幼児センター」があり、全国に先駆けた幼保一元化を実現しています。

また、子育てに関する相談・支援の拠点となる子育て支援センター「どろんこ」、放課後児童クラブや学習支援、母子保健事業の推進など、多面的な取り組みによって子供を育てやすいまちづくりをすすめています。

### ○地域おこし協力隊

共和町で「地域おこし協力隊」として働きながら、将来的に共和町での起業や就業を目指す熱意のある方を募集しております。

募集内容  
農業支援員、スポーツ振興

推進員、公共交通連携推進員、自己推薦型隊員

募集内容等の詳細については、町ホームページでご確認ください。

### ○定住促進住宅取得等補助金

町民の住環境の向上と移住・定住人口の確保、地域経済の活性化を図ることを目的に、新築または中古住宅の取得および住宅の改修費用の一部の補助を行っています。

補助金の申請については様々な要件がありますので、詳細については、町ホームページでご確認ください。

## ふるさと納税

共和町では、寄附金の使い道を次の6つの区分から選んでいただき「まちづくり」に参加していただくことができます。

- ①生活環境整備のため
- ②保健・福祉・医療の充実のため
- ③教育・文化の振興のため
- ④産業の振興のため
- ⑤その他町政の推進のため
- ⑥自治体におまかせ

また、町外の方には寄附額(1万円以上)に応じて、御礼として共和町の特産品を贈呈します(時期により品切れとなる特産品もございますのでご了承ください)。

手続きなど、詳しくは共和町公式ホームページでご確認ください。(担当・総務課財政係)

<https://www.town.kyowa.hokkaido.jp/administration/?content=449>



# 「かかしのふるさと共和町」

## 観光スポット

### ○神仙沼自然休養林

ニセコ山系の湖沼のなかで、もつとも美しいと称えられているのが神仙沼です。その神秘的な表情から、神々や仙人が住むようだというところでその名が付けられました。



季節により様々な表情を見せてくれるのが魅力です。木々からは自然の

周辺には自然休養林が広がり、大沼や長沼、湿原植物が多く見られる大谷地が点在しています。その植生とともに、ありのままの景観を守るため、遊歩道や木道の整備等にも力を注ぎ、自然保護と観光の両立を図っています。



美術館は田園風景を見渡す丘の上に建ち、郷土を描いた学生時代の作品から、線の探求を続けたパリ時代の作品、さらに、晩年没頭していた箱絵まで、約5,300点を収蔵しています。

モダンな建物内は、展示室、復元アトリエ、展望コーナー等で構成され、画伯の洗練された芸術世界が広がっています。



室の復元や、多くの方々から寄贈いただいた農機具・

厳しさの歳月を感じ取られ、凜然とした姿の赤エゾマツがその雰囲気醸し出しています。



また、神仙沼自然休養林の玄関口にあたるレストハウスには、広い駐車場をはじめ、軽食コーナー、売店、トイレなどを完備しています。2階の展示コーナーでは神仙沼自然休養林の高山植物や野鳥などのパネル展示を行っています。さらに、レストハウスの横の道を進むと、美しい田園風景や日本海を一望できる展望台もあります。

### ○西村計雄記念美術館

西村計雄（にしむらけいゆう）は、共和町出身で、戦後パリを拠点に活躍した洋画家です。ピカソを育てた画商・カールワイラー氏に「和菓子の色」と評されたやわらかな色彩とたおやかな線が特徴の作品は、「東洋と西洋の美を融合した」として高く評価されました。



蔵展示室で構成されており、常設展示室では映像ライブラリーコーナーやパネル展示などにより共和町の歴史を紹介し、収蔵展示室は廃校となった旧幌似小学校の木造校舎を修復し、昭

○かかし古里館  
かかし古里館は、共和町の主産業である農業に関わった先人達の開拓や生活文化の歴史などを、未永く後世に伝えることを目的とした郷土資料館です。館内は、常設展示室と収

生活用具などを展示しており、どこからともなく子どもたちの笑い声が聞こえてきそうなノスタルジックな雰囲気に満ちています。



## 共和町へのアクセス

URL : <https://www.town.kyowa.hokkaido.jp>



JRでお越しの場合

札幌から小沢まで約2時間

函館から小沢まで約3時間

バスでお越しの場合

札幌から共和まで約2時間20分

(高速いわい号)

車でお越しの場合

札幌から共和まで約1時間45分

(札樽道使用)





# おたる 小樽市のご紹介

## 市町村から

○日本遺産を活用した取組  
小樽市は、令和7年2月

に「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」の民の力」で創られ蘇った北の商都」が初の市単独の日本遺産に認定されました。この価値を国内外に発信し、地域活性化と次世代継承に取り組んでいます。



## おたる潮まつり

おたる潮まつりは、市民が一体となって、まちに活気をもたらすための「まつり」として始まりました。まつりの始まりを知らせるため、街なかを踊り歩く「潮ふれこみ」や、町内会や学校、企業などがグループを組んで練り歩く「潮ねりこみ」などが行われま

## 物産と観光展

北海道、(一社)北海道貿易物産振興会、(公社)北海道観光機構及び小樽市を含めた14都市が共催する「北海道の物産と観光展」は、北海道の魅力を広げるために全国各地の百貨店で開催され、北海道ならではの新鮮な海産物や農産物、菓子など多くの品揃え

による展示・即売を行っており、小樽市からも地元で愛される菓子、若鶏半身揚げ、水産加工品や海鮮丼などを出品しています。

また同時に、観光コーナーにおいて北海道の観光地の紹介が行われ、小樽市も観光案内や観光映像、観光パンフレットなどにより市の紹介・宣伝を行っています。

年末には、東北地方において小樽単独の物産展を開催し、おせち食材や菓子、水産加工品、海鮮丼、若鶏の半身揚げなどを販売しています。昨年は、北海道ワインが特集され、とても好評でした。

活気に満ちた物産展で魅力あふれる多くの小樽産品をご覧いただき、試食などを含め、小樽の幸をたっぷり堪能いただきたいと思います。

## 子育て支援

子育て支援課では、親子が自由に遊び交流できる場所として、就学前のお子さんと保護者の方ならどなたでも利用できる「地域子育て支援センター」を市内3か所に開設し、センター開放事業や各種子育て講座等を実施しているほか、「第2目以降の保育料の完全無料化」や「病児保育利用料の無料化」、「放課後児童クラブ利用手数料の無料化」などの経済的支援を充実させる施策を通じ、誰もが子育てしやすい環境づくりに進めています。

## 移住について

○移住支援について  
移住希望者の就職先や起業のサポート、住居などワンストップでさまざまな相談に対応する移住相談窓口「おたる移住・起業『ひと旗』サポートセンター」を開設しています。

## おたる移住・起業「ひと旗」サポートセンター

0134・22・1177  
また、移住情報専用サイト「笑(え)になるおたる」では先輩移住者のリアルな声が聞ける「移住経験談」

## 創業支援について

小樽市では、多くの創業の実現を目的として「小樽市創業支援等事業計画」を策定し、国の認定を受けています。この計画に基づき、小樽商工会議所及び市内の金融機関と連携し、市内で

新たに創業を考えている方を対象に、創業・経営相談やセミナー、融資相談、補助金などの創業に関するさまざまな支援を行っており、創業に対して不安を抱える方も安心して事業を始める環境づくりを進めています。支援の1つの「創業支援補助金」は、創業時における事務所等の家賃・内外装工事費の一部を補助する制度であり、新規創業による雇用の創出や市内業者との取引促進を通じて地域経済が活性化することを目的としています。

さらに、創業に伴い市外から移住される場合には、補助金上限額の引き上げを行っており、移住促進や人口減少対策にもつながる取組となっています。(詳細については、小樽市のホームページをご覧ください)

## 子育て納税

小樽市では、平成20年度(2012年度)から「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり事業」として全国の皆様からご寄附をいただいております。平成28年(2016年)4月1日から「寄附された方が選択できる事業(使い道)」を増やしたほか、市外にお住まいの個人の方を対象にお礼の品(返礼品)をご用意させていただきます。

小樽の歴史と伝統を保全しながら、快適で持続可能なまちづくりを実現するために、皆様からのご支援・ご協力をよりしくお願いいたします。

笑(え)になる  
おたる

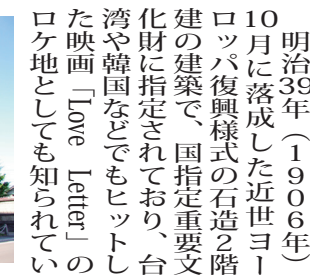


# 小樽市のご紹介 おたる



観光スポーツ

旧日本郵船(株) 小樽支店



た映画「Love Letter」の  
ロケ地としても知られてい

快なつくりで、数多くの魚類等が館内で飼育されています。アシカの仲間のオタリアやイルカのパフオーマンス、トドのダイビングなど動物たちの元気な姿を楽しまます。

令和6年（2024年）には道内で初めて繁殖に成功し、バンドウイルカの赤ちゃんが誕生しました。

○旧国鉄手宮線  
幌内（ほろない）鉄道

るようになりました。

イベントの会場としても利用されており、「小樽がらす市」や「小樽雪あかりの路」などが開催されています。



○天狗山



幌内（ほろない）鉄道の  
一部として、明治13年  
（1880年）に小樽・手  
宮々札幌を結ぶ、北海道で  
最初の鉄道として開通しま

○朝里川温泉郷

朝里川に沿ってリゾート  
ホテルやペンションなどの



展望台から眼下に小樽港や石狩湾が広がる絶景ポイントです。天狗山からの夜景は「北海道三大夜景」と称されるほどの美しさです。山麓から山頂まで約5分です。30人乗りのロープウェイが運行し、山頂にあるカフェでは絶景とともにおいしい食事や飲み物を楽しめます。さらにこの絶景を眼下に滑り降りる「ジップライン」や、山頂の草原を爽快に滑走する「天狗山スライダー」、シ

とも言える小樽運河は、大正12年（1923年）に完成した荷揚げのための港湾施設でした。戦後、使われなくなつた運河の埋め立てを巡る論争の末、昭和61年（1986年）に散策路や街園が整備された現在の姿に生まれ変わりました。夕暮れ時には、ガス灯がともるとともに石造倉庫群がライトアップされ、昼間とは違った雰囲気を出しています。



ます。建物の前に広がる蓮河公園は、当時の船入澗（ふないりま）を模して造られています。また、5年間の保存修理工事を経て令和7年（2025年）4月25日よりリニューアルオープンしました。

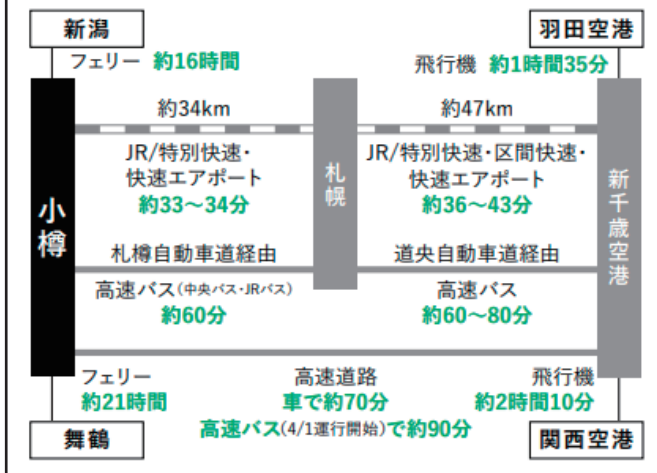
○おたる水族館

昭和33年（1958年）、北海道博覧会の「海の会場」として誕生した、道内では歴史のある水族館です。日本海に臨む海岸をそのまま取り込んでいる豪



## Access Guide

小樽は札幌からJR快速で約33～34分。バスやマイカーでも気軽にアクセスできる身近な観光スポットです。



小樽市ホームページ

<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2020100900053/>



大小さまざまなホテルのある自然豊かな温泉郷です。夏はゴルフやテニス、秋は紅葉、冬はスキーを満喫できます。

マリスがかけ回る「シマリス公園」など、楽しみが盛りたくさんです。自然の中で、心と体をリフレッシュしませんか？



## 蘭越町のご紹介

## 市町村から

## ○らんこし米

清流日本一に輝く尻別川の流域に広がる肥沃な土壌と、雄大なニセコ連峰から

湧き出る天然のミネラルをたっぷり含んだ清流が、良質でおいしい「らんこし米」を育てます。ニセコ連峰に

囲まれた盆地である蘭越町は、夏は温暖な気候で比較



的昼夜の気温差も大きく、お米作りの環境としては最適です。

また、お米はタンパク質の含有率が低いほど美味しいとされています。蘭越町の生産者はこのタンパク質の生産者はこのタンパク質の値を下げるため、収量は低くなりませんが、窒素肥料を抑え、きめ細かい肥培管理を行うことによりタンパク質含有率6.8%の自慢のお米ができます。

北海道内有数の良食味米産地として「らんこし米」のさらなるブランド化の推進のため、そして自然環境に配慮し、高品質・良食味の安全・安心な最高に美味しい「らんこし米」生産のために関係者一丸となって取り組んでいます。

○米1（こめワン）グラ  
ンプリらんこし

北の大地北海道蘭越町で、お米の食味日本一を決める米1（こめワン）グランプリを開催しています。「米1グランプリらんこし」は、全国の米農家を対象にした食味コンテストです。コンテストの実施を通じて、競争意識による生産技術の向上と消費

者へのおいしいお米の情報発信を目指したもので、2011年から開催されています。例年、全国から多くの出品を受け、全国の食に携わる学校及びこだわりのお米を取り扱う専門店、皆さんによる予選審査を経て上位30品のお米の中から、トーナメント方式でグランプリを決定します。これまで13回開催され、蘭越町内の農家から6名のグランプリが選出されています。



## 移住等サポート

○「ニセコエリアの」度良い町」蘭越町 蘭越町移住サポート実施中

蘭越町は後志管内の南西部、周囲をニセコ連峰の山々に囲まれた盆地に位置し、道南最大の河川「尻別川」が町の中心を流れる自然豊かな町です。夏のアウトドアや冬のパウダース

ノーを体験しに国内外から多くの観光客が訪れるニセコエリアにありながら、今も長閑でゆったりとした生活を営むことができるココ蘭越町では是非一緒に移住ライフを楽しみましょう!! 「移住について相談したいけど、役場まで行くのは大変」「電話だけでは色々な疑問や不安が解消しきれない」。蘭越町ではそんな

不満を解消するため、インターネットを活用したオンライン移住相談の予約受付を行っておりです。ビデオ通話により対面での相談のような感覚でご利用いただけますので、皆様お気軽にご利用下さい。

## ふなやみ純粋

○ふるさと蘭越町を応援してください  
想いをまちづくりに活かしませんか

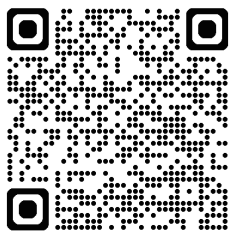
豊かな自然と魅力あふれる人々の営みを次代に引き継ぎ、将来の世代に誇ることのできるふるさとづくりに進めるため、蘭越町に想いを寄せる皆さんから寄附を募り、その想いを現し、寄附を通じてまちづくりに参加していただくことを目的に、ふるさと納税制度をはじめました。ご寄附をいただいた感謝の気持ちとして「らんこし米」を贈呈します。お米以外の特産品も、返礼品としてご用意しています。

寄附者の想いを反映するため、寄附金は寄附者の希望する事業に限定して使わせていただきます。  
・水源のかん養や国土の保全等に資する森林資源の整備に関する事業  
・地域福祉の推進に関する事業  
・地域産業の振興に関する事業  
・子どもたちの育成を支援する事業  
・蘭越町花一会図書館の蔵書を充実する事業  
・その他まちづくりに資する事業  
指定のない場合は、町長が責任をもって活用させていただきます。

北海道 蘭越町 移住サポート  
川と海と山に囲まれて  
らんこし暮らし  
Book



国産色豊かなニセコエリアでゆったり囲み暮らしが待っています。



<https://town.rankoshi.hokkaido.jp/administration/life/detail.html?content=355>



## 「お米のまち 蘭越町」

### 観光スポット

#### ○大湯沼

沼一面に立ち昇る白い蒸気と、季節ごとに姿を変えるニセコ連峰との美しいコントラストが楽しめる大湯沼。沼底から硫黄を含んだガスや水蒸気が噴出しており、沼に流れ込む水に成分が溶け込んだ、天然温泉の沼です。湧き出す湯はもちろん、気温が下がるにつれて蒸気の量も増え、大自然のエネルギーを感じることが出来ます。

#### ○コックリ湖

樹齢200年から300年のダケカンバなどの古木がうっそうと茂っている、大自然のなかにひっそりとたたずんでいる湖、コックリ湖。対岸の風景を逆さに映し出す波穏やかな湖面に、野鳥のさえずりや木々が風にそよぐ音以外何も聞こえない秘境の風情がたまらない魅力。

大湯沼には学術的にも貴重な「黄色球状硫黄」施設「蘭越町交流促進センター雪秩父」の湯は、この大湯沼から引かれています。

とと呼ばれる、カナリヤのえさのイナキビに穴をあけたような姿をした黄色い歩で1時間10分ほどの道のりは、汗を忘れさせてくれる爽やかさです。



(大湯沼とニセコ連峰)

### 蘭越町へのアクセス

蘭越町 HP

URL : <https://town.rankoshi.hokkaido.jp/administration/town/detail.html?content=310>

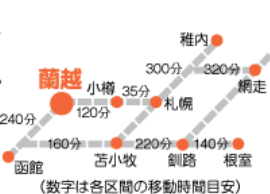
蘭越町観光物産協会 HP

URL : <https://rankoshi-tourism.com/>

#### 空路をご利用の場合



#### JR をご利用の場合



#### 陸路をご利用の場合



蘭越町 HP  
アクセスは  
こちらから



蘭越町観光  
物産協会 HP  
アクセスは  
こちらから



○蘭越町交流促進センター雪秩父(ゆきちちぶ)  
湯本温泉郷の「雪秩父」(ゆきちちぶ)は、ニトヌプリを望む7つの露天風呂がある町営の日帰り入浴施設です。  
露天風呂では大自然を感じることができ、女湯では「どろ湯」を楽しむことができます。冬期間も利用可能となっており、冬のニセコの山々を背にして温泉を満喫することができます。休憩所や食堂を完備しておりますので、お気軽にご利用下さい。



○紅葉の滝  
奥ニセコ渓谷を走る道道268号沿いから眺められる紅葉の滝。新見温泉(休業中)から岩内寄りに500mほど行くと入り口があり、道路からはるか下にある滝から轟音が響いています。

○蘭越町交流促進センター  
幽泉閣(ゆうせんかく)  
幽泉閣は昭和33年から営業している蘭越町に古くからある温泉です。  
地域に根ざした温泉施設する温泉施設です。



# 真狩村のご紹介

## 市町村から

○真狩村ってどんな場所？



真狩村は「蝦夷富士」の名で知られる秀峰・羊蹄山のすそ野に広がる人口2000人未満の純農村です。じゃがいも、大根、ブロッコリー、アスパラガス、雪の下にんじんなど多彩な農作物が生産されています。

寿都町、留寿都村、洞爺湖町、豊浦町の6町1村に接しています。札幌へは車で1時間45分、新千歳空港へも約2時間と、近隣都市へのアクセスが良好な立地です。村の中心部を通る道道66号線は、羊蹄山へまっすぐに伸びるメインストリートとして村内外から親しまれています。

札幌へは車で1時間45分、新千歳空港へも約2時間と、近隣都市へのアクセスが良好な立地です。村の中心部を通る道道66号線は、羊蹄山へまっすぐに伸びるメインストリートとして村内外から親しまれています。

「ほくほく祭り」は、真狩村では毎年9月第1週に、村の一大イベント「ほくほく祭りinまっかり」を開催しています。令和7年度は9月7日に開催し、雨天にもかかわらず約4600名の来場者で賑わいました。

「ほくほく祭り」は、真狩村では毎年9月第1週に、村の一大イベント「ほくほく祭りinまっかり」を開催しています。令和7年度は9月7日に開催し、雨天にもかかわらず約4600名の来場者で賑わいました。

○お問い合わせ  
○真狩村役場 〒036-1631 北海道虻田郡真狩村字真狩 118  
TEL: 0136-45-3613 FAX: 0136-45-3162

## 移住のヒント

○住宅について

真狩村の賃貸住宅には、公営住宅、子育て世帯向け移住・定住促進住宅、農業従事者向けシェアハウスのほか、民間アパートが3棟あります。公営住宅については入居条件がある場合がありますので、村ホームページなどでご確認ください。

○生活について  
生活用品や食料品の買い物には、村内の個人商店やコンビニエンスストアがあります。近隣町村にはスーパーマーケットやドラッグストアがあり、ネットスーパーの対応エリアにも含まれているので買い物に困ることはありません。

○お仕事について  
農業が盛んな地域であるため、第一次産業（農林業）が村内の産業比率の40%程度を占めています。村内の求人に限られています。

○お仕事について  
農業が盛んな地域であるため、第一次産業（農林業）が村内の産業比率の40%程度を占めています。村内の求人に限られています。

○お仕事について  
農業が盛んな地域であるため、第一次産業（農林業）が村内の産業比率の40%程度を占めています。村内の求人に限られています。

○お仕事について  
農業が盛んな地域であるため、第一次産業（農林業）が村内の産業比率の40%程度を占めています。村内の求人に限られています。

○お仕事について  
農業が盛んな地域であるため、第一次産業（農林業）が村内の産業比率の40%程度を占めています。村内の求人に限られています。

○お仕事について  
農業が盛んな地域であるため、第一次産業（農林業）が村内の産業比率の40%程度を占めています。村内の求人に限られています。

○お仕事について  
農業が盛んな地域であるため、第一次産業（農林業）が村内の産業比率の40%程度を占めています。村内の求人に限られています。

○お仕事について  
農業が盛んな地域であるため、第一次産業（農林業）が村内の産業比率の40%程度を占めています。村内の求人に限られています。



○寄附への返礼品  
じゃがいも、ゆり根、アスパラ、雪の下にんじんなどの農作物のほか、長期保存のミネラルウォーターやハープ豚の生ハム・ウィンナーソーセージ、マッカリナーナの宿泊券など真狩村

○寄附への返礼品  
じゃがいも、ゆり根、アスパラ、雪の下にんじんなどの農作物のほか、長期保存のミネラルウォーターやハープ豚の生ハム・ウィンナーソーセージ、マッカリナーナの宿泊券など真狩村



ふるさと納税  
返礼品の一例

## ふるさと納税

皆様から頂いた寄附金をより良い村づくりのために活用させていただきます。

### ○寄附金の使い道

- ①羊蹄山の恵を大切にする村づくり
- ②心豊かであたたかい人づくり
- ③歴史的財産の保存・継承
- ④へき地医療の充実
- ⑤地域の未来を創造する真狩高校の充実
- ⑥村長におまかせ

○ご利用いただけるポータルサイト  
①ふるさとチョイス  
②楽天ふるさと納税  
③ANAのふるさと納税  
④ポケマルふるさと納税



E-mail: [kikaku@vill.makkari.lg.jp](mailto:kikaku@vill.makkari.lg.jp)  
公式ホームページ: <https://www.vill.makkari.lg.jp>



# 真狩村のご紹介

## 「笑顔でつなぐ うるおいあふれる村まっかり」 観光スポット

○道の駅真狩フラワースェンター  
真狩フラワースェンターは、道道66号線沿いに位置する道の駅です。  
全国1位の生産量を誇る食用ゆり根をはじめ、じゃがいもや雪の下にんにく、アスパラなど旬の農作物を、通年での湯を堪能できる日替わり温泉です。  
肌ざわりがまるやかで効能豊かな湯は、行楽やス



販売しています。春から秋にかけては、隣接するガラスハウスで鉢花や球根、園芸資材も購入できます。  
また、フラワースェンター限定販売の「ゆり根パイ饅頭」や「ゆり根最中」などのお菓子も取り扱っており、お土産探しでお立ち寄りいただくのもおすすめです。  
また、フラワースェンター限定販売の「ゆり根パイ饅頭」や「ゆり根最中」などのお菓子も取り扱っており、お土産探しでお立ち寄りいただくのもおすすめです。

後志初の「ふわふわドーム」や木製アスレチックなど、お子様の年齢に合わせて遊べる遊具が12種類設置されています。（利用可能期間…4～10月）  
さらに、敷地内にはドッグランや羊蹄山が見える観光望遠鏡などもありますので、是非お気軽にお立ち寄りください。  
○まっかり温泉  
まっかり温泉は、ナトリウム塩化物泉と炭酸水素塩の泉質をもつ源泉かけ流し温泉です。

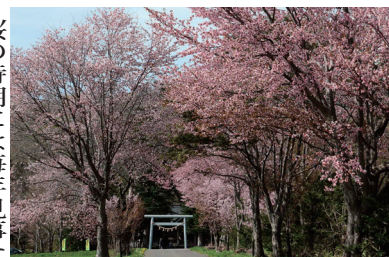
○まっかり温泉  
まっかり温泉は、ナトリウム塩化物泉と炭酸水素塩の泉質をもつ源泉かけ流し温泉です。  
肌ざわりがまるやかで効能豊かな湯は、行楽やス

キャンプ場やテニスコート、アスレチック、探勝路などがあり、自然を思う存分満喫できます。  
特にキャンプ場（真狩野営場）はファンが多く、キャンプシーズンや登山シーズンは多くの利用客で賑わいます。  
○歌う細川たかし記念像  
真狩村出身の演歌歌手、細川たかしさん。日本レコード大賞三冠など数々の功績をお持ちの名歌手です。  
村内には出身地ならではの細川たかしゆかりのスポットがたくさんあります。



管理棟はバリアフリー対応でシャワーやオストメイト対応トイレを備え、羊蹄山の湧き水を利用した炊事施設もあります。テントなどの貸出も可能です。  
予約不要のフリーサイトと予約が必要なオートサイトとがあり、オートサイトにはAC電源と水道の設備が整っています。  
オートサイトの予約受付

中でも最も有名なのは、真狩河川公園に佇む「細川たかし記念像」です。  
土台にはご本人の手形がたたどられており、手をかざすとセンサーが反応して代楽曲4曲を高らかに歌い上げます。  
また、村内の交流プラザには「細川たかしギャラリー」があり、ステージ衣装や台本、日本レコード大賞の時期には毎年見事な桜並木が広がり、残雪を抱いた羊蹄山とともに美しい景色を楽しめます。

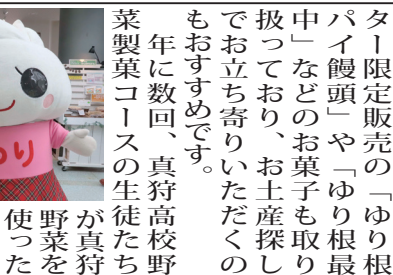


や盾など貴重な資料が多数展示されています。  
入り口正面奥では「細川たかし記念像」のレプリカが訪れた人をお出迎えします。

○真狩神社の桜並木  
真狩神社の参道には、地域の人々によって植えられたエゾヤマザクラの並木があります。

また、フラワースェンター限定販売の「ゆり根パイ饅頭」や「ゆり根最中」などのお菓子も取り扱っており、お土産探しでお立ち寄りいただくのもおすすめです。

また、フラワースェンター限定販売の「ゆり根パイ饅頭」や「ゆり根最中」などのお菓子も取り扱っており、お土産探しでお立ち寄りいただくのもおすすめです。



隣接するユリ園コテージに宿泊された方には、無料で入浴できる温泉券が配布されますので、真狩村にご宿泊の際は是非ご利用ください。



「La mikka（ラミッカ）」が開催され、毎回行列ができる人気イベントとなっています。

センターの裏手には、令和6年（2024年）度にオープンしたキッズ

「La mikka（ラミッカ）」が開催され、毎回行列ができる人気イベントとなっています。

センターの裏手には、令和6年（2024年）度にオープンしたキッズ

「La mikka（ラミッカ）」が開催され、毎回行列ができる人気イベントとなっています。

センターの裏手には、令和6年（2024年）度にオープンしたキッズ

「La mikka（ラミッカ）」が開催され、毎回行列ができる人気イベントとなっています。

センターの裏手には、令和6年（2024年）度にオープンしたキッズ

「La mikka（ラミッカ）」が開催され、毎回行列ができる人気イベントとなっています。

センターの裏手には、令和6年（2024年）度にオープンしたキッズ

### 真狩村へのアクセス

真狩村ホームページ

<https://www.vill.makkari.lg.jp/makkarimura/access/>



詳細はこちら→



●お問い合わせ  
○真狩村役場 〒036-1631 北海道虻田郡真狩村字真狩 118  
TEL: 0136-45-3613 FAX: 0136-45-3162

E-mail: [kikaku@vill.makkari.lg.jp](mailto:kikaku@vill.makkari.lg.jp)  
公式ホームページ: <https://www.vill.makkari.lg.jp>



# 余市町のご紹介

## 市町村から

### ○グルメ情報

余市町は、豊かな自然と海の恵み、そして世界に誇るウイスキーやワインといった美酒と美食の町です。近年は「日本ワインの聖地」とも呼ばれ、国内外のワイン愛好家やグルメファンから注目を集めています。札幌市やニセコ圏からアクセスしやすい点も魅力です。

まず欠かせないのは、余市の海産物。ニシン漁で栄えた歴史を持ち、年間を通じて新鮮な魚介類が水揚げされています。特にウニやえびは訪れる人々を魅了する逸品。港町ならではの寿司や海鮮丼はもちろん、地元レストランではワインとの相性を考えた創作料理も楽しめます。



また、果樹栽培も盛んで、りんご、ぶどう、梨の生産量は道内トップを誇ります。近年はイチゴなど四季折々の果物も実り、特に近年急増しているワイン用ぶどうは、余市産ワインの味を支える重要な存在です。こうした地元食材とワインの組合せは、ここでしか体験できない「余市グルメ」の大きな魅力といえます。



### ○イベント情報

毎年9月に開催される「余市ラフェット」は、町を代表する一大ワインイベントです。チケットは毎年即完売となり、希少な町内ワイナリーのワインを飲み比べできるほか、生産者と直接言葉を交わせる特別な機会として人気を博しています。開放されたワイン用ぶどう畑の中でワインと食事をを楽しむことができ、ワイン初心者から愛好家まで幅広く楽しめるのが特徴です。



また、9月・10月にかけてはワイン用ぶどうの収穫最盛期を迎え、町内外から多くの収穫ボランティアが集まります。秋の澄んだ空気の中で一房ずつ丁寧にぶどうを摘み取る体験は、まさに農村の季節感を味わえる特別なプログラム。参加者は農家と交流しながらワインづくりの始まりを実感できるため、多くの畑を巡るリピーターもたくさんいます。



冬の2月には「ワインを楽しむ会」が開催され、このイベントは地元農

家の飲み会から始まったとされており、近年はワイナリーの増加に伴い規模が拡大。2026年には30回目を迎える、長年にわたり町民から愛される歴史ある催しです。雪景色に包まれた静かな町でグラスを傾けるひとときは、余市ならではの贅沢な冬の過ごし方といえるでしょう。



ワインをはじめとしたグルメとイベントを軸に、四季折々に表情を変える余市町。ぜひ次の旅行先として、豊かな味わいと体験にあふれるこの町を訪れてみてください。

## 移住等について

### ○よいちおためし移住体験ツアー

地域おこし協力隊の更なる受入を進めるべく、「よいちおためし移住体験ツアー」を行っています。参加費無料のこの体験ツアーは、2泊3日で余市町の魅力を発見できるプログラムです。移住者や地域住民、現役の地域おこし協力隊など様々な人と交流する機会もあり、毎年4回の開催を予定しています。

#### 〈対象者〉

・地域おこし協力隊の募集、地域要件を満たす18歳以上の方

・余市町での移住や起業を考えている方

・余市町と深く関わりたい方

#### 〈ツアー内容〉

・町内施設訪問  
・職員による移住者向け制度説明  
・移住者による仕事や生活に関するお話し

・地域おこし協力隊の活動体験  
・移住者との交流会 等

※ツアー内容は変更の可能性があります。町ホームページをご参照ください。

### ○奨学金返還支援事業

生産年齢人口の転出を解消するため、町内への定住や就業を促進しています。その一環として、高校・専門学校・大学等の在学中に借りた奨学金の返還支援を行っています。

申請年度の前年度における奨学金返還額と、町に住み登録して居住していた期間に応じて助成金を支給し、最大5年間で最大72万円まで支援します。

#### 〈申請受付期間〉

毎年6月から7月末日まで

〈対象者〉  
・大学等または高等学校等を卒業している方

・申請年度の前年度の末日において、年齢が満30歳に満たない方

※その他諸条件あり

#### 〈助成内容〉

・余市町に定住している方  
大学・専門学校等を卒業した方：90000円/月（上限）

・余市町に定住し、かつ余市町内で就業されている方  
大学・専門学校等を卒業した方：120000円/月（上限）

・高等学校等を卒業した方：40000円/月（上限）  
・余市町に定住し、かつ余市町内で就業されている方  
大学・専門学校等を卒業した方：50000円/月（上限）

※詳細は町ホームページをご参照ください。

## ふるさと納税

余市町を愛する皆様からのご寄附を活用し、「活力と魅力に満ちた個性あるふるさと」づくり、に資する事業を推進していきます。

### ○寄附金の使い道

- ①地域の強みを生かした産業の振興と雇用の創出に関する事業
- ②移住・定住、ひとの流れをつくる施策に関する事業
- ③若い世代の安定と、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりに関する事業
- ④町民が安心して暮らせるまちをつくり、広域連携の推進に関する事業
- ⑤余市町の未来を担う青少年を育成するための事業
- ⑥その他目的達成のため町長が必要と認める事業

○「余市町感謝祭2025」開催決定！  
余市町のワイン産業、そして余市町を応援してくださっている寄附者の皆様へ、心からの感謝の気持ちを込めた特別なふるさと納税企画です。

今年で6年目の開催となりますが、毎年6,000人以上のワイン愛好家の皆様からご好評をいただいています。

今年も余市町のワイナリーの皆様にご協力のもと、希少で入手困難なワインを多数ご用意しました。開催期間：11月23日（日）から1週間程度  
詳細情報：「余市町 感謝祭」で検索（担当 政策推進課）



# 余市町のご紹介

## 「世界に誇る美酒と美食の町 余市町」

### 観光スポット

○ワイナリー＆ヴィンヤード

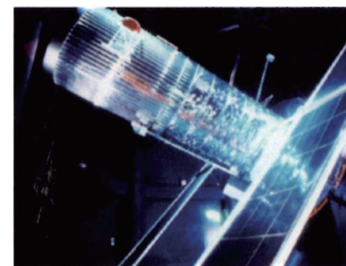
余市町は、北海道内では比較的温暖で夏季の降雨が少ないという気候条件に恵まれており、この環境で育つ醸造用ぶどうは高い品質を誇ります。そのため、全国のワインメーカーに出荷されているほか、余市町産ぶどうを使用したワインは世界的に有名なレストランや国際会議の場でも採用されるなど、国内外から注目を集めています。

2011年に北海道で初めて「ワイン特区」の認定を受けて以来、ワイン醸造への新規参入者を支援する取組が進められています。ワイナリーの

○ニッカウヰスキー余市蒸溜所

ニッカウヰスキーの創業者・竹鶴政孝氏が、夢の出発点として選んだのが余市蒸溜所です。「日本のスコットランド」と称される気候と豊かな自然のもと、竹鶴氏はウヰスキーづくりへの情熱を貫き、世界に誇るモルトウヰスキーを生み出しました。

創業時と変わらない伝統の技は、今もお健在です。創業90年を超えた現在も現役で稼働している余市蒸溜所は、2004年に北海道遺産に選定され、2007年に経済産業省の近代化産業遺産に認定されました。さらに2022年には、蒸溜所内の建造物10



○円山公園

円山公園は町内最大級の公園で、敷地内にはふれあい交流施設をはじめ、複合遊具や芝生の多目的広場などが整備されており、子育て世代を中心に多くの地域の方々の散歩道としても利用されており、大人から子どもまで幅広い世代が楽しめる公園です。春には桜の名所としても親しまれています。



とはアイヌ語で「シ=山」「ロ=頭」の意味で、海に突き出している山の頭、すなわち岬を表しています。この岬は、約630万年前に粘性の高いマグマが海底に噴出し、水中で昭和山のような溶岩ドームを形成したものと考えられています。シリパ岬の岩体にはマグマが冷える過程でできた柱状節理（柱を並べたような割れ目の構造）が発達しており、周辺の海岸でも柱状に割れた岩が多数見られます。



○奇岩えびす岩・大黒岩  
白岩町の海上、岸から10数メートルほどの浅瀬にえびす岩・大黒岩は並んでいます。それぞれの岩の形や佇まいから夫婦岩（めおといわ）とも呼ばれています。



○奇岩ロソク岩

ロソク岩は、沖合約500メートルの海上に43メートルを超える高さでそそり立っています。岩質は輝石安山岩質のハイアロクラスタイト（溶岩が水中で冷やされたもの）で、もろ



数は年々増加し、現在では道内最多となる20のワイナリーがオープンしています。また、美しいヴィンヤード（ワインぶどう畑）の景観も魅力のひとつで、ワインの産地としてだけでなく観光地としても高い注目を集めています。



○余市宇宙記念館―スペース童夢

棟が国の重要文化財に指定されています



1992年に日本人科学者として初めて宇宙を飛行した余市町出身の毛利衛氏の功績を紹介しています。宇宙で実際に使用した実験装置やスペースシャトルの部品のほか、宇宙での衣食住が分かる資料が展示されています。また、宇宙開発



○シリパ岬

余市町の西側に張り出し、その突端は急峻な断崖となっているシリパ岬は、余市町のシンボリックな存在となっています。「シリパ」

## 余市町へのアクセス

URL (余市町ホームページ): <https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>



余市町は、高速道路を利用すると新千歳空港まで約1時間30分、札幌市までは約50分、隣の小樽市までは約15分、また、積丹半島と俱知安方面への国道の分岐点に当たる交通の要衝に位置しています。





## ニセコ町のご紹介

### 市町村から

#### ○ニセコ町について

後志管内のほぼ中央に位置するニセコ町は、東に羊蹄山、北にニセコアンヌプリを望み、町の中央には尻別川が流れています。内陸的気候で、平均気温はおおよそ6.3℃、世界有数のパウダースノーの聖地であり、冬期の最深積雪は2mに達することもあります。



#### ○主な産業

ニセコ町の主な基幹産業は農業と観光です。栽培される農産物は、米やジャガイモ、メロン、アスパラ、ブロッコリーなど多岐にわたります。町内で栽培された旬の農産物は、直売所で購入したり、町内飲食店で楽しむことができます。

観光では、良質なパウダースノーを求め、国内外から多くの観光客が訪れ、ウィンタースポーツを楽しんでいます。また、夏季は登山やラフティング、サイクリングなどニセコ町の自然を満喫できるアクティビティが盛りだくさんです。

この産業の基盤となっているのは、豊かな自然環境です。2001（平成13）年に全国で初めて制定した自治基本条例「ニセコ町ま

ちづくり基本条例」による情報共有・住民参加のまちづくりを進めるとともに、豊かな自然や良好な景観を維持するために、自然環境に調和し、景観に配慮したまちづくりが行われています。

#### ○イベント・グルメ

2月中旬に行われる「シーニックナイト」は、ニセコ駅前を中心にキャンダルが設置され、まちを幻想的な灯りで照らします。ニセコ駅前温泉綺羅乃湯駐車場には「NISEKO」の雪文字が登場し、素敵に彩られます。

8月第一土曜日は、「七夕の夕べ花火大会」が行われます。ステージイベントや昔遊び、ものづくり体験などさまざまな催しが楽しめる一大イベントです。露



店やキッチンカーの出店もあり、おいしいグルメを楽しむこともできます。イベントの最後、夜空に打ちあがる1500発の花火は間近で見ることができ、圧巻です。

9月中旬に行われるニセコマラソンフェスティバルには、毎年各地からたくさんの方が集まります。秋景色の町内を力強く駆け抜けます。

10月中旬には、「ニセコハロウィン」が行われま

す。9月中旬から、町内は黄色カボチャで彩られ始まります。イベント当日にはコスチュームコンテストやキッチンカーの出展などもあり、華やかな雰囲気になります。

ニセコ町のグルメを楽しむには、「ニセコ町デジタルグルメガイドマップ」が便利です。このマップは、おしゃれなカフェやレストラン、パン・ケーキ屋さん、ボリウム満点の食堂や町民が集まる居酒屋などを簡単に検索できます。イベントでニセコ町を訪れた際は、町内の「おいしい」を見つけてみてはいかがでしょうか。

### 移住について

#### ○安心して働くために

農業と観光が基幹産業のニセコ町は、その特性により国内外からたくさんの方が訪れる地域であるため、観光客をターゲットとした事業展開のチャンスがあります。飲食店などの起業、冬季のウィンタースポーツのインストラクターなど、季節ごとに仕事を選択する働き方を選択することもできます。ニセコ町では、ニセコ町商工会と協働して、創業に向けた支援や相談に応じています。



↑  
「ニセコ移住  
ワーク協同組  
合」はこちら

#### ○移住相談窓口

ニセコ中央倉庫群（字中央通）には、移住相談窓口を設置しています。自身もニセコ町に移住され、起業し、子育てをしている移住定住相談員が、生の声をお届けします。

また、移住ポータルサイトも開設しており、移住者目線で分かりやすい情報発信を行っています。



#### ○ニセコ生活体験

町内の宿泊施設では、長期滞在プランを用意しています。地元ならではの情報を入手したり、ニセコ町民の暮らしを体験してみたいかがでしょうか。観光課（担当：企画環境課、商工



↑  
「移住ポータル  
サイト」は  
こちら

### ふるさと納税

ニセコ町では、多くのみなさんの応援のもと、情報共有による住民主体のまちづくりを進めてきました。こうしたニセコ町の取り組みに共感してくださるみなさんの思いを寄付という形で受け、まちづくりに生かしています。

お寄せいただいた寄付は、「環境の保全および景観維持、再生に関する事業」や「教育、スポーツの振興及び子育て環境整備に関する事業」、「産業振興に関する事業」、「まちづくりに関する事業」などの事業に活用しています。みなさんの思いをより生かせるよう、現在、11の寄付事業を設定しています。



↑  
「ふるさと納税」  
詳細はこちら

みなさんからいただいた寄付は、「ニセコ町ふるさ

（担当：企画環境課）



## ニセコ町のご紹介

# 「豊かな自然に育まれた町 ニセコ町」

## 観光スポット

### ○ニセコ温泉郷

ニセコ温泉郷は、ニセコ町と隣接する蘭越町に点在し、国民保養温泉地として指定されている温泉群です。その歴史の始まりは、イワオヌプリ周辺で硫黄採掘が始まった明治時代までさかのぼり、当時から漁師や猟師、登山家などたくさんの人に親しまれてきました。

ニセコ温泉郷には、10種類に分類される温泉の泉質のうち7種類が存在しており、温泉施設によつてさまざまな色や香り、効能を楽しむことができます。泉質が豊富であることから、自分の

るところに位置し、羊蹄山やニセコ連山を眺望できる道の駅です。

特産品販売を行う情報プラザ棟には、町産生乳で作ったチーズやスイーツ、町産米を100%使用した日本酒のほか、ワインやビール、ジンなど、豊富な特産品が並びます。農産物直売所では、旬のおいしい採れたて野菜をお手頃価格でお求めいただくことができます。また、テイクアウトショップも併設されており、お買い物や景色を楽しむことが出来ます。豊かな自然によつてはぐくまれた「ニセコ町ならでは」のおいしい味に出会えること、



などといったアクティビティが人気で、ニセコ町の雪を楽しむに世界中からスキーヤーが集まります。

夏季には、登山やラフティング、サイクリングなどのアクティビティを体験するために多くの人が訪れる



や内浦湾まで眺めることができる絶景スポットです。

### ○有島記念館

有島記念館では、『カインの末裔』や『生れ出づる悩み』、『或る女』などの小説で知られる文豪・有島武郎とその作品、有島農場の足跡を紹介しています。

有島のあゆみを紹介する常設展示のほか、ニセコ町にゆかりのある芸術家の作品が並ぶ展覧会や音楽コンサート、朗読劇などを実施しており、さまざまな文化に触れることができます。



有島武郎は、1922年、春から秋にかけての土日には、ニセコエクスプレス車庫扉を開放しており、見

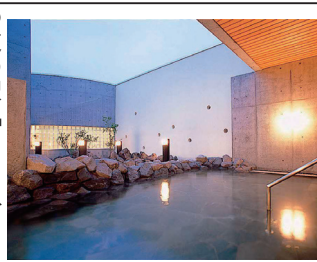


目的に合わせて温泉を選ぶこともできます。「町内のアクティビティを楽しむんだ後に汗を流したい」、「日ごろの疲れを癒したい」、「おいしいものを食べて、ゆっくりしたい」など、楽しみ方はさまざまです。お気に入りの温泉を探しに、何度でも足をお運びいただけます。



### ○ニセコエリア

ニセコエリアは、ニセコアンヌプリを頂点に連なるニセコ連山、日本百名山の羊蹄山などの山々に囲まれています。また、中央には清流日本一の尻別川が流れ、1年を通して豊かな自然を楽しむことができる絶好のフィールドです。

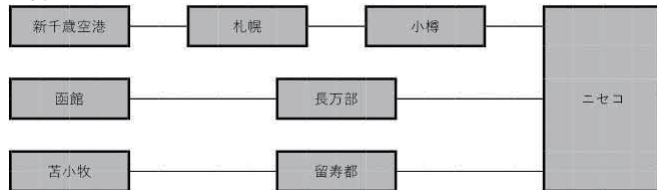


### ○道の駅「ニセコビュープラザ」

道の駅「ニセコビュープラザ」は、国道5号と道道岩内洞爺線が交差するポイント、バックカントリー

## ニセコ町へのアクセス

### 各地からのアクセスルート



### ○JR利用

- ・新千歳空港→札幌→小樽→ニセコ (約200分)
- ・札幌→小樽→ニセコ (約170分)
- ・函館→長万部→ニセコ (約220分)

### ○バス利用

- ・札幌→小樽→ニセコ (約180分)
- ・苫小牧→留寿都→ニセコ (約200分)

### ○自家用車・レンタカー

- ・札幌市から国道230号、道道97号、道道66号経由 (約120分)
- ・小樽市から国道5号経由 (約90分)
- ・千歳市から道道16号、国道276号、道道97号、道道66号経由 (約120分)
- ・苫小牧市から国道276号、道道97号、道道66号経由 (約110分)
- ・函館市から国道5号、道央道、国道5号経由 (約180分)



「ニセコ町観光協会ホームページ」はこちらから↑

町内の移動には、デマンドバス「にこっとBUS」(事前予約制)が便利です。また、カーシェアリングサービスもご利用いただけます。



## 京極町のご紹介

## 市町村から

## ○京極町について

京極町は、北海道の西部、後志総合振興局管内の東部、羊蹄山の東山麓に位置し、東は無意根連峰を境に札幌市と隣接し、西は倶知安町、南は喜茂別町、北は赤井川村が位置し、羊蹄山の山頂は、京極町、喜茂別村、真狩村、ニセコ町、倶知安町に分かれています。気候は、全体に内陸型の気象で、夏季は南東風の風が多く温暖ですが、日中と夜間の温度差が大きく、また、南西部に羊蹄山があるため、農耕期の後半は日照不足の影響を強く受けるなどの特徴があります。根雪は11月下旬、雪解けは4月下旬から5月上旬頃で、道内有数の豪雪地帯です。

## ○名前の由来

「京極」の地名は、明治30年、京極町に農場を開いた旧讃岐丸亀藩京極高徳子爵の名前に由来します。昭和13年、うち続く凶作に当時、東倶知安村と呼ばれていた京極は、困窮の中にありました。道内各地で小作騒動が起きる中、京極農場は馬主と農民が固い絆に結ばれ、困難な状況でも着実に開拓が続いていました。それでも、農民の困窮を見かねた当時の農場主京極高修は、農場の全面開放を決意します。喜んだ農民たちは、これを永遠に記念しようとして昭和15年、当時の村名を「京極」としました。

## ○グルメ情報

## ●京極プリン

北海道牛乳と卵黄を使用し、一般的な絹ごし目よりも目の細かい滑らかな濾し工程と精度1℃の徹底した温度管理によって、つやが出るほどのなめらかな舌触りが特徴で、オリジナルのカラメルには京極の名水「羊蹄のふきだし湧水」を使用し、プリンに見合う味わいと香りを実現しています。



## ●京極麦酒のクラフトビール

毎日約8万トンもの豊かな水量に恵まれた、ビール醸造に最適な環境のもとで町の人たちに愛される、人と人を繋ぐものを作りたい。そんな作り手の思いから生まれたクラフトビールです。



## ○イベント情報

## ●名水の里きょうこくし

やっこいまつり  
毎年7月に名水百選に選定された「ふきだし公園」で行われる、水をテーマにした涼やかなイベントです。来場者の皆さんに暑い夏を涼しんでもらえる「名水かき氷早食い競争」のコーナーをはじめ、歌謡コンサートなどのステージショーなども行われる、楽しい企画が盛りだくさんのお祭りです。



## 移住支援センター

## ○定住促進事業補助金

京極町に定住を希望する方に新築した住宅、中古住宅を購入した費用の一部を補助金として交付しています。

町内業者で新築住宅を建てた場合、子育て世帯で300万円、それ以外で150万円。町外業者で新築住宅を建てた場合、子育て世帯で200万円、それ以外で100万円。高性能・高品質住宅（「北方型住宅」かつ「きた住まいる登録」）の場合は追加で100万円補助しています。また、中古住宅（土地代含む）は購入価格の1/10（上限100万円）を補助しています。



## ○施設など

## ●京極町生涯学習センター「湧学館（ゆうがくかん）」

京極町内への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消のため、東京圏から京極町に移住した方で、北海道から指定を受けた企業に就職した方に対し、支援金を交付しています。

生涯学習センター湧学館には、図書室や郷土資料コーナーがあり、水にまつわる資料が充実しています。

## ●スリーパーパーク

名水が有名なふきだし公園の東側に位置しており、恵まれた自然環境下でのパークゴルフやキャンプなどを楽しむことができます。自然との調和の中、心の豊かさや人とのふれあいを基調とした施設で、地域住民をはじめ、近隣市町村の多くの人の交流拠点の場となっています。



## ふきだし納税

## ○京極町へのふるさと納税を募集しています。

京極町へ寄附された方には、特産品の野菜や京極の名水、クラフトビール、ジンギスカン、京極プリン等を返礼品として贈呈しています。

また、いただいた寄附金は、水資源等環境保全事業や移住定住促進事業、ふきだし公園周辺再開発推進事業などに活用させていただいております。





# 「名水の郷 京極町」

## 観光スポッポット

○京極のふきだし湧水  
京極町のふきだし湧水は、羊蹄山に降った雨や雪が地下に浸透し、数十年の歳月をかけて京極町に湧出したもので、適度にミネラルを含んだまろやかな味と、一年を通して6.5℃前後の変わらない水温が特徴です。水量も十分で、平均湧出量一日約8万トン、一般的な家庭の水道使用量の約30万人分に相当する水量です。この湧水は多くの人に親しまれ、環境庁「名水百選」（昭和60年）、国土庁「水の郷百選」（平成8年）や「北海道遺産」（平成13年）に選ばれています。湧水の周辺は、湧水池を中心に三角ステージ等を持つ総合公園「ふきだし公園」として整備し、年間約70万人の観光客が訪れます。

○羊蹄山麓の農村景観  
えぞ富士と呼ばれる羊蹄山（1898m）のすそ野に広がる農村風景は、広大であり力強さどこかやさしさを感ぜさせてくれます。観光客やカメラ愛好家は、四季折々様々な角度から羊蹄山と畑の風景を撮影しています。特に町営牧場からの風景は、他の山麓町村にはない風景と言われています。

主な農作物は、バレイシヨ、小麦、ビート、豆類などです。雪解けの始まる4月から収穫の終わる10月まで、町内では様々な農の風景を見ることができま。特に初夏は、緑一面のなかに薄紫色のバレイシヨの花が咲き、畑が一年を通して最も彩られる時期です。

○京極温泉  
ふきだし公園のほど近くに、気軽に立ち寄れる日帰り温泉施設「京極温泉」があります。露天風呂から眺める羊蹄山の美しい山容は、京極温泉ならではの絶景です。泉質はナトリウム塩化物・硫酸塩泉で、神経痛、筋肉痛などに効能があります。羊蹄山登山、スキーの帰りなどに、体を温め筋肉をほぐすのに最高です。



## 京極町へのアクセス

URL：  
町 HP：<https://www.town-kyogoku.jp/ichi/access/>  
観光協会 HP：<https://kyogoku-kanko.jp/access.html>

<公共交通機関を利用>

<乗用車を利用>



札幌市から 新千歳空港から

札幌市から

	区間時間	累計時間
札幌駅		
道南バス (洞爺湖温泉行)	1:46	
喜茂別		1:46
道南バス (洞爺湖行)	0:17	
京極バスターミナル		2:03

	区間時間	累計時間
札幌駅		
京極バスターミナル (小樽行)	0:32	
小樽駅		0:32
京極バスターミナル (小樽行)	1:26	
小樽駅		1:58
道南バス (洞爺湖行)	0:28	
京極バスターミナル		2:26

①喜茂別町経由(中山峠利用)		
	区間時間	累計時間
札幌市		
道南バス (中山峠行)	1:10	
中山峠		1:10
道南バス (中山峠行)	0:36	
喜茂別町		1:46
道南バス (中山峠行)	0:14	
京極町		2:00

②小樽市経由(高速道路を利用する場合)		
	区間時間	累計時間
札幌市		
道南バス (小樽行)	0:17	
小樽市		0:17
道南バス (小樽行)	0:24	
小樽市		0:41
道南バス (小樽行)	0:50	
小樽市		1:31
道南バス (小樽行)	0:18	
京極町		2:12

③小樽市経由(高速道路を利用しない)		
	区間時間	累計時間
札幌市		
道南バス (小樽行)	1:11	
小樽市		1:11
道南バス (小樽行)	1:22	
小樽市		2:33
道南バス (小樽行)	0:18	
京極町		3:01



## 年間の公益事業・行事など

### 新年交礼会開催（1月 有料）

北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン  
「千島桜」シンボルバッジキャンペーン  
「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン  
「ふるさと納税推進」キャンペーンなどの年初スタートを実施。

### 「北方領土返還要求全国大会」に参加（2月7日 北方領土の日）

### 「北方領土返還要求中央アピール行進」に参加（12月1日）

### 交流の夕べを開催（8月4日前後 有料）

キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。

### 交流イベント「We Love Hokkaido」の開催（旧道産子の会、10月 有料）

北海道関係者、北海道ファン、一般参加者2～300名、有料  
キャンペーン、公益事業の広報、地域活性化イベントなどを実施。

### 講演会、シンポジウムの開催（無料）

当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般の参加歓迎（講演テーマ、行政との協調などにより公益性のあるものとし、一般参加を呼びかける。）

### 情報紙「北海道“NOW”」の発行・配布

倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道“NOW”」本紙・増刊号（年11回）を発行。一般配布（有料 月額80円）有り。

### 「北海道の市と町と村をご紹介します（WEB版）」の発行・配布

本誌

### 北海道情報ラックに北海道情報を配布（毎月、無料）

### ホームページで倶楽部公益事業を広報（適時）

### その他

倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・会計、北星会（ゴルフ））



「摩周湖」（弟子屈町）





入会希望の方は定款 ([HP](#) にあります) をご了承の上、  
下記申込書を A4 にコピーし、ご記入の上郵送下さい。

[入会案内のページ](#)

上記ページを参照し、ホームページ上からも、各申込書のダウンロード及び入力送信が出来ます。(QR コードを読みとるかクリックも可)

正会員の入会申込後、直近の理事会での入会承認後、入会のご連絡と入会金(5千円)年会費(15千円)納入のお願いを差し上げます。

# 正会員

公益社団法人北海道倶楽部

☐入会申込書 ☐登録事項変更申込書

申込年月日 令和 年 月 日		印
ふりがな		
氏 名		
生 年 月 日 大 昭 平 年 月 日		
新規登録、変更は下記に記入／会員抹消は氏名のみ記入		
連絡先は <input type="checkbox"/> 勤務先・ <input type="checkbox"/> 自宅とします。 会報、郵送物の送付先を指定。(左記 <input type="checkbox"/> にチェック)		
勤務先	会社名(ふりがな )	
	役職名	
	住所 〒 ( - )	
	電話 - - FAX - -	
	業 種	
連絡用mail @		
自宅 <small>はチェック 名簿非掲載希望</small>	住所 〒 ( - )	
	電話 - - FAX - -	
出身地	市町村	最終学校
北海道との関係		
関心分野 <small>各1個</small>	支援 <input type="checkbox"/> 総務 <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 北方領土返還 <input type="checkbox"/> 地域活性化・ふるさと納税 <input type="checkbox"/> 新幹線延伸	
	事業 <input type="checkbox"/> 新年交礼会 <input type="checkbox"/> 交流のタベ <input type="checkbox"/> 北海道フェア <input type="checkbox"/> 交流イベント	
	趣味 <input type="checkbox"/> ゴルフ <input type="checkbox"/> 囲碁 その他( )	
紹介会員 (1)		(2)